

X 經年比較

XI 経年比較

1. 経年変化の目的

平成16年度、平成19年度、平成22年度に4県（三重県・和歌山県・徳島県・高知県）が共同で地震・津波県民意識調査、平成25年度、平成27年度、平成30年度に地震・津波に対する県民意識調査を実施しており、結果を比較することにより、これまで行ってきた防災策を評価するとともに、今後の防災対策の進め方に反映させることが目的である。

2. 経年変化の事項

(1) 南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフ地震について知っていたか／自宅や地域にどのような危険があるか／緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか

(2) 津波避難対策について

津波で浸水が予測される地域かどうか／津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか／いつ避難するか／避難場所を確認しているか／どこに避難するか／避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか／要配慮者がいる場合に避難において支援の必要の有無／要配慮者の避難を支援する体制ができているか／

(3) 家庭での備えについて

食料の備蓄状況／備蓄していない理由／飲料水の備蓄状況／備蓄していない理由／南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか／地震に備えるための保険や共済に加入しているか／

(4) 地震の揺れ対策について

・家具や家電などの固定について

家具や家電などを固定しているか／固定していない家具や家電は何か／固定していない理由／補助制度を知っているか／固定を促進するために県や市町村では何をすべきか

・ブロック塀などの倒壊防止について

自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか／安全性の点検の実施状況／点検していない理由／危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを、安全なフェンスや生け垣などに変える予定はあるか／補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか

・住宅の耐震化について

補助制度を知っているか／どのようにして知ったか／耐震改修工事や設計の自己負担許容額／部分的な耐震対策を行う場合の自己負担額／

(5) 地震火災対策について

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか／感震ブレーカーを知っているか／感震ブレーカーを設置しているか／感震ブレーカーを設置していない理由

(6) 自主防災組織について

自主防災組織の活動への参加状況／地域の自主防災組織の活動状況／これからどういった活動に取り組んでいけばよいか

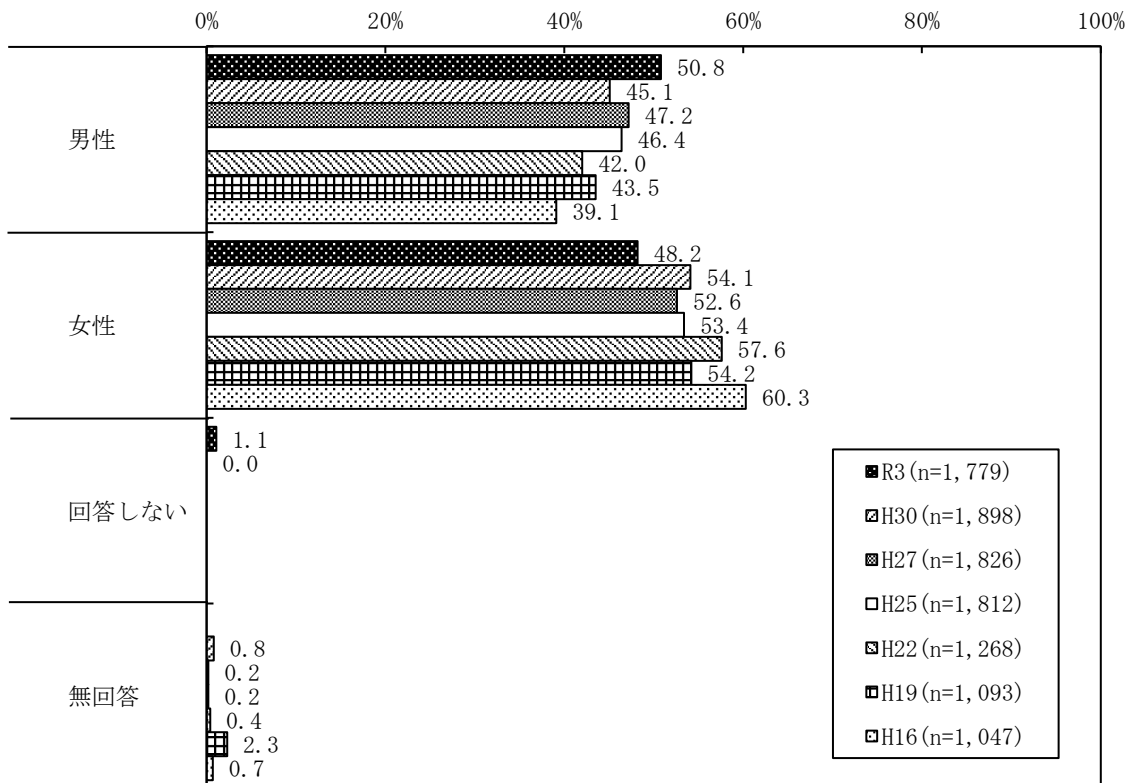
(7) 地域の防災力について

地域や職場の地震防災訓練への参加状況／どのような訓練に参加したか／どうすれば参加人数が増えると思うか／地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

問 1 ①性別

上段：人数
下段：%

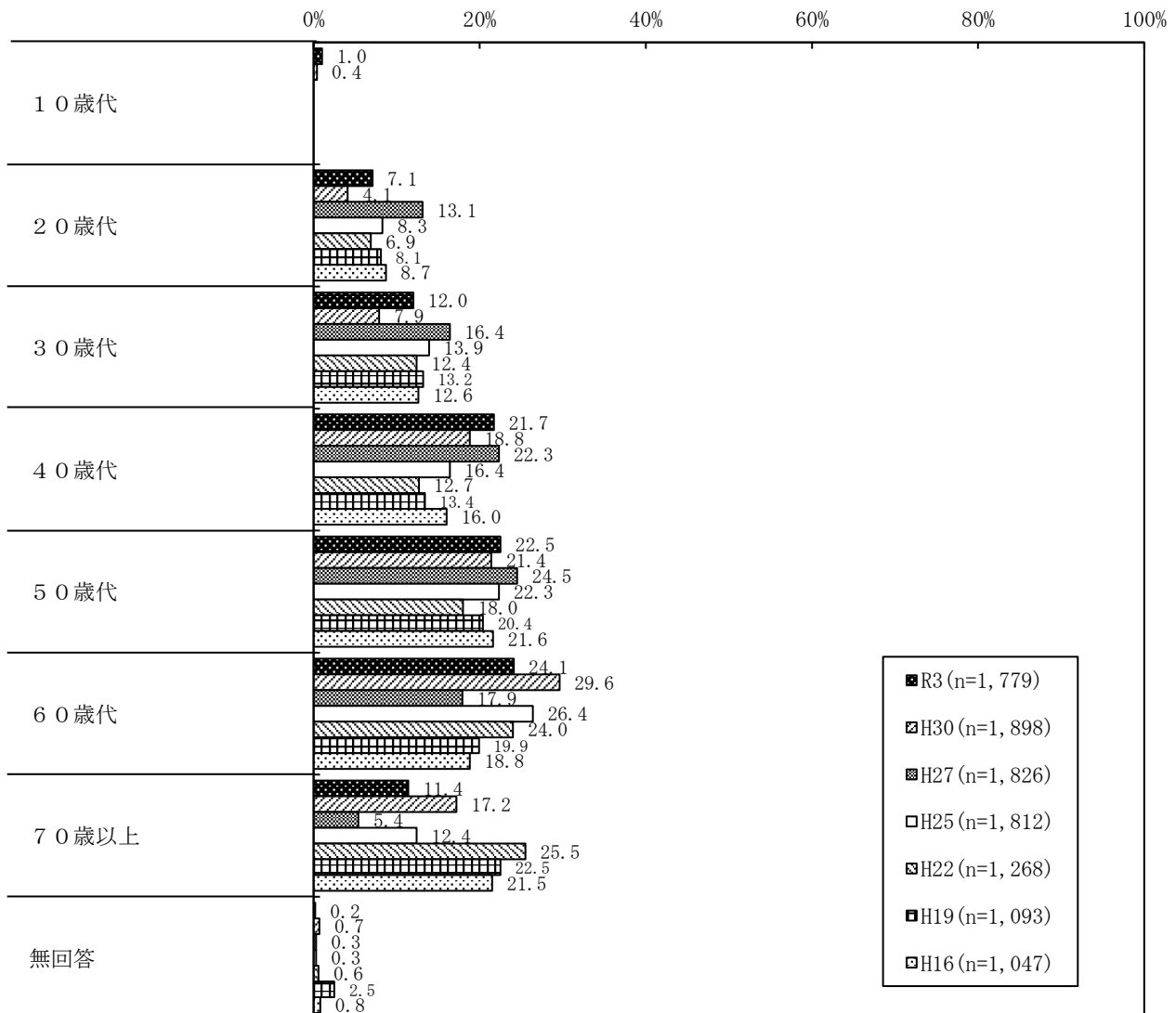
	男性	女性	回答しない	無回答	合計
R3	903 50.8	857 48.2	19 1.1	- -	1,779 100.0
H30	856 45.1	1,026 54.1	0 0.0	16 0.8	1,898 100.0
H27	861 47.2	961 52.6	- -	4 0.2	1826 100.0
H25	840 46.4	968 53.4	- -	4 0.2	1,812 100.0
H22	533 42.0	730 57.6	- -	5 0.4	1,268 100.0
H19	476 43.5	592 54.2	- -	25 2.3	1,093 100.0
H16	409 39.1	631 60.3	- -	7 0.7	1,047 100.0



問1 ②年齢

上段：人数
下段：%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
R3	18 1.0	126 7.1	214 12.0	386 21.7	400 22.5	428 24.1	203 11.4	4 0.2	1,779 100.0
H30	7 0.4	78 4.1	149 7.9	356 18.8	406 21.4	562 29.6	326 17.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	- -	240 13.1	300 16.4	407 22.3	448 24.5	326 17.9	99 5.4	6 0.3	1,826 100.0
H25	- -	151 8.3	251 13.9	297 16.4	404 22.3	479 26.4	224 12.4	6 0.3	1,812 100.0
H22	- -	87 6.9	157 12.4	161 12.7	228 18.0	304 24.0	323 25.5	8 0.6	1,268 100.0
H19	- -	89 8.1	144 13.2	146 13.4	223 20.4	218 19.9	246 22.5	27 2.5	1,093 100.0
H16	- -	91 8.7	132 12.6	168 16.0	226 21.6	197 18.8	225 21.5	8 0.8	1,047 100.0



問1 ③職業

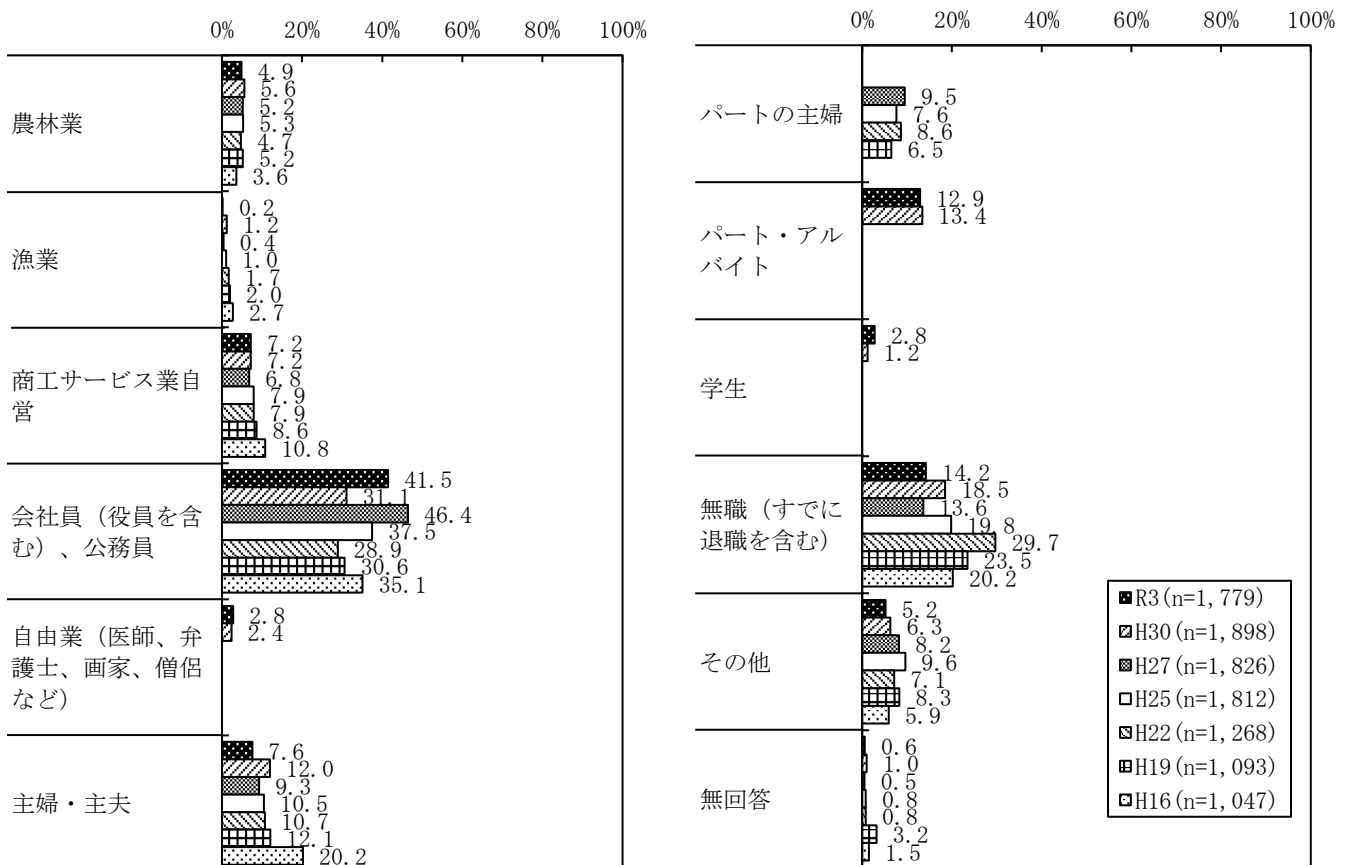
上段：人数
下段：%

	農林業	漁業	商工サービス業自営 ^{※1}	会社員（役員を含む）、公務員 ^{※2}	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	主婦・主夫 ^{※3}	パートの主婦	パート・アルバイト	学生	無職（すでに退職を含む）	その他	無回答	合計
R3	88 4.9	4 0.2	128 7.2	739 41.5	50 2.8	136 7.6	- -	229 12.9	49 2.8	253 14.2	92 5.2	11 0.6	1,779 100.0
H30	107 5.6	22 1.2	137 7.2	591 31.1	46 2.4	227 12.0	- -	255 13.4	22 1.2	352 18.5	120 6.3	19 1.0	1,898 100.0
H27	95 5.2	7 0.4	125 6.8	847 46.4	- -	169 9.3	174 9.5	- -	- -	249 13.6	150 8.2	10 0.5	1,826 100.0
H25	96 5.3	19 1.0	143 7.9	679 37.5	- -	190 10.5	138 7.6	- -	- -	358 19.8	174 9.6	15 0.8	1,812 100.0
H22	60 4.7	22 1.7	100 7.9	366 28.9	- -	136 10.7	109 8.6	- -	- -	377 29.7	90 7.1	10 0.8	1,268 100.0
H19	57 5.2	22 2.0	94 8.6	334 30.6	- -	132 12.1	71 6.5	- -	- -	257 23.5	91 8.3	35 3.2	1,093 100.0
H16	38 3.6	28 2.7	113 10.8	368 35.1	- -	211 20.2	- -	- -	- -	211 20.2	62 5.9	16 1.5	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「商工自営業」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「勤め人（会社員・公務員）」と答えた人数

※3 平成16年度は「主婦」、平成19年度～平成27年度は「専業主婦」と答えた人数

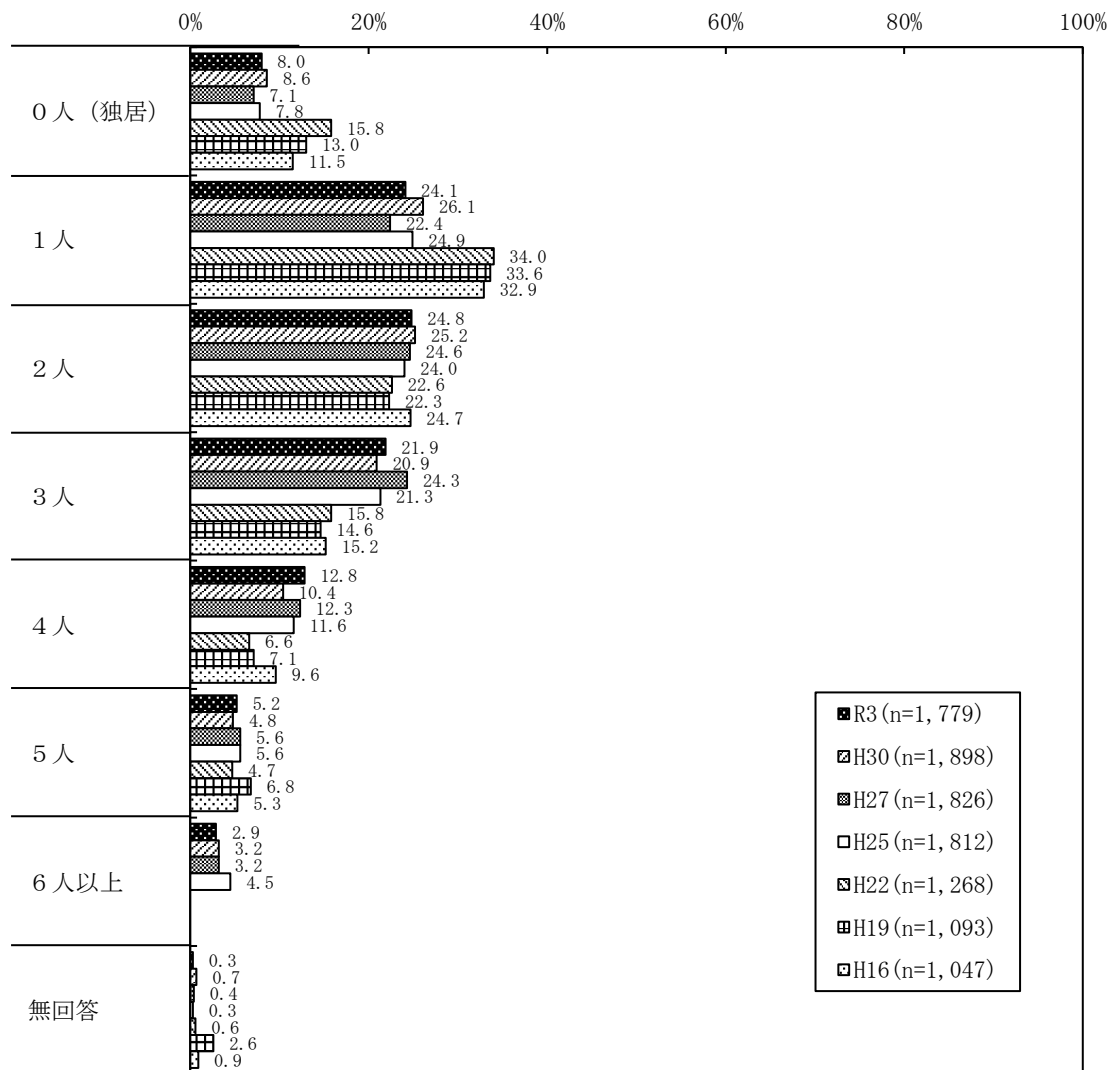


問 1 ④同居しているご家族は何人いますか

上段：人数
下段：%

	0人 (独居)	1人	2人	3人	4人	5人 ※ ₁	6人以上	無回答	合計
R3	143 8.0	428 24.1	441 24.8	390 21.9	227 12.8	92 5.2	52 2.9	6 0.3	1,779 100.0
H30	164 8.6	495 26.1	478 25.2	397 20.9	198 10.4	91 4.8	61 3.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	129 7.1	409 22.4	450 24.6	444 24.3	224 12.3	103 5.6	59 3.2	8 0.4	1,826 100.0
H25	142 7.8	452 24.9	434 24.0	386 21.3	210 11.6	101 5.6	81 4.5	6 0.3	1,812 100.0
H22	200 15.8	431 34.0	287 22.6	200 15.8	84 6.6	60 4.7		8 0.6	1,268 100.0
H19	143 13.0	368 33.6	243 22.3	160 14.6	77 7.1	74 6.8		28 2.6	1,093 100.0
H16	120 11.5	344 32.9	259 24.7	159 15.2	101 9.6	55 5.3		9 0.9	1,047 100.0

※1 平成22年度以前は「5人以上」と答えた人数

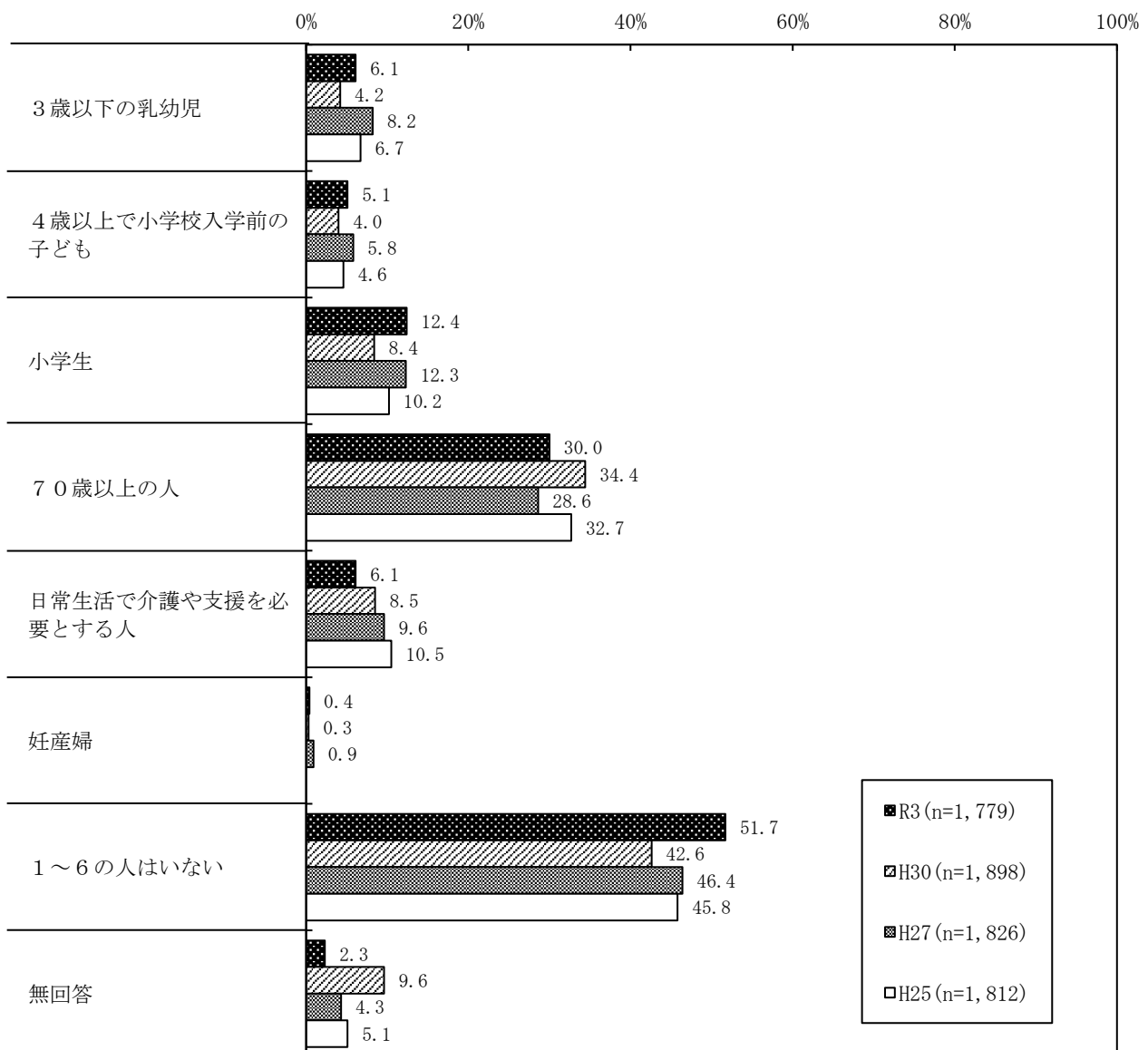


問1 ⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか

上段：人数
下段：%

	3歳以下の乳幼児	4歳以上で小学校入学前の子ども	小学生	70歳以上の人	日常生活で介護や支援を必要とする人	妊産婦	1～6の人はいない	無回答	合計
R3	108 6.1	90 5.1	221 12.4	533 30.0	108 6.1	8 0.4	920 51.7	41 2.3	1,779
H30	79 4.2	75 4.0	160 8.4	653 34.4	162 8.5	5 0.3	808 42.6	183 9.6	1,898
H27	149 8.2	105 5.8	224 12.3	522 28.6	176 9.6	16 0.9	848 46.4	79 4.3	1,826
H25	122 6.7	84 4.6	185 10.2	592 32.7	191 10.5	- -	830 45.8	93 5.1	1,812

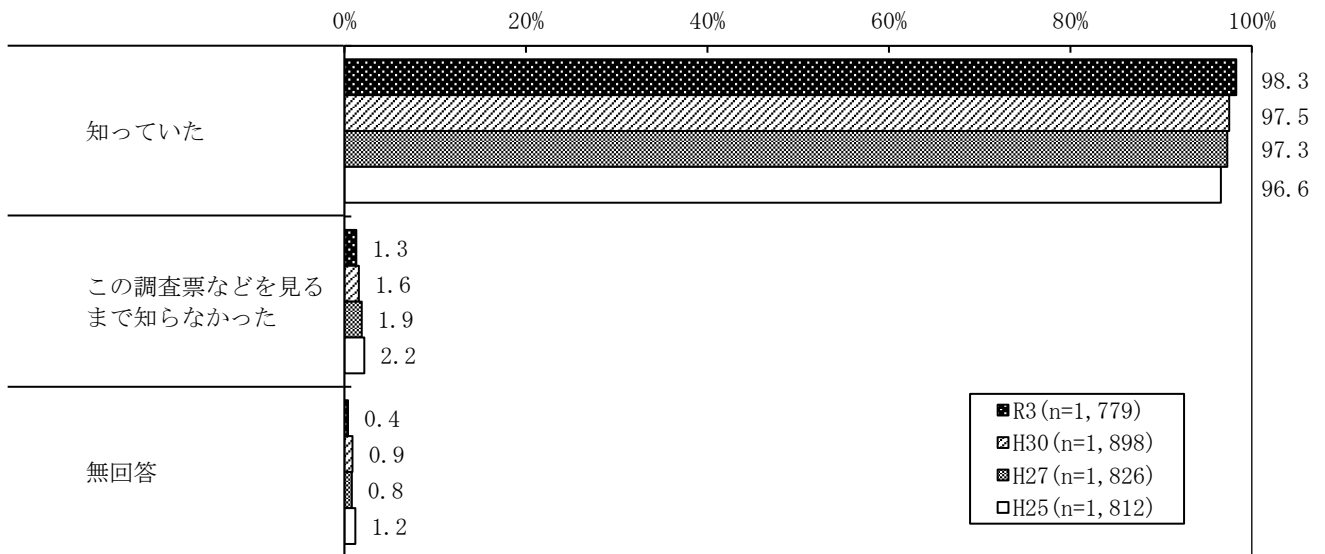
※1 平成27年度以前は「3歳以下の幼児」と答えた人数



問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

「知っていた」は、平成25年度と比較すると1.7%増加している。

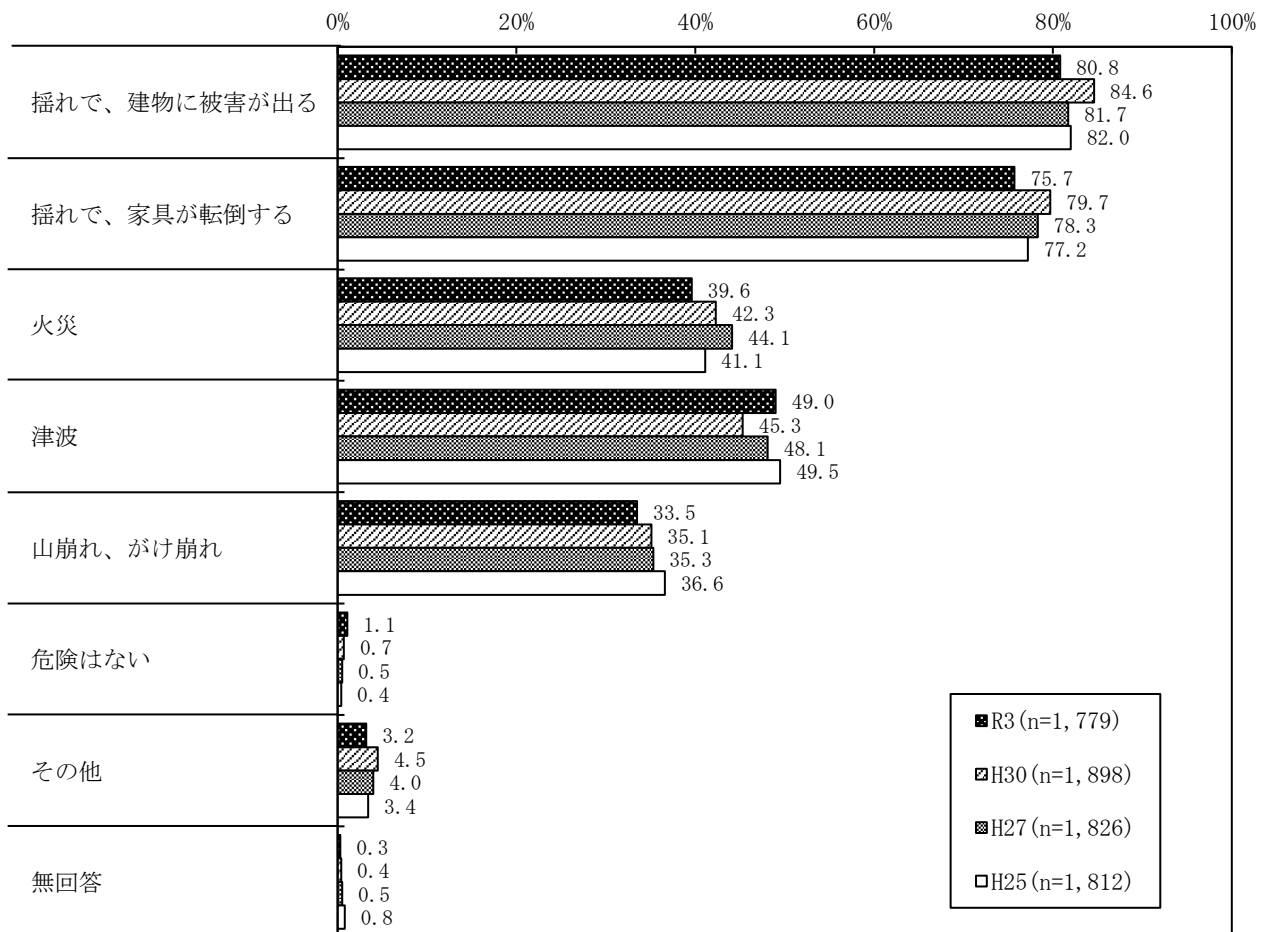
	知っていた	この調査票などを見るまで知らなかった	無回答	合計
R3	1,748 98.3	23 1.3	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,851 97.5	30 1.6	17 0.9	1,898 100.0
H27	1,776 97.3	35 1.9	15 0.8	1,826 100.0
H25	1,751 96.6	40 2.2	21 1.2	1,812 100.0



問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

「揺れで、建物に被害が出る」、「揺れで、家具が転倒する」、「火災」と「山崩れ、がけ崩れ」は、平成25年度から令和3年度の中で最も低い割合となっている。

	上段：人数 下段：%								
	揺れで、 建物に被害が 出る	揺れで、 家具が転倒す る	火災	津波	山崩れ、 がけ崩れ	危険はない	その他	無回答	合計
R3	1,437 80.8	1,347 75.7	704 39.6	871 49.0	596 33.5	20 1.1	57 3.2	6 0.3	1,779
H30	1,605 84.6	1,512 79.7	803 42.3	859 45.3	667 35.1	14 0.7	86 4.5	7 0.4	1,898
H27	1,491 81.7	1,430 78.3	805 44.1	879 48.1	645 35.3	10 0.5	73 4.0	9 0.5	1,826
H25	1,486 82.0	1,399 77.2	744 41.1	897 49.5	663 36.6	8 0.4	62 3.4	15 0.8	1,812



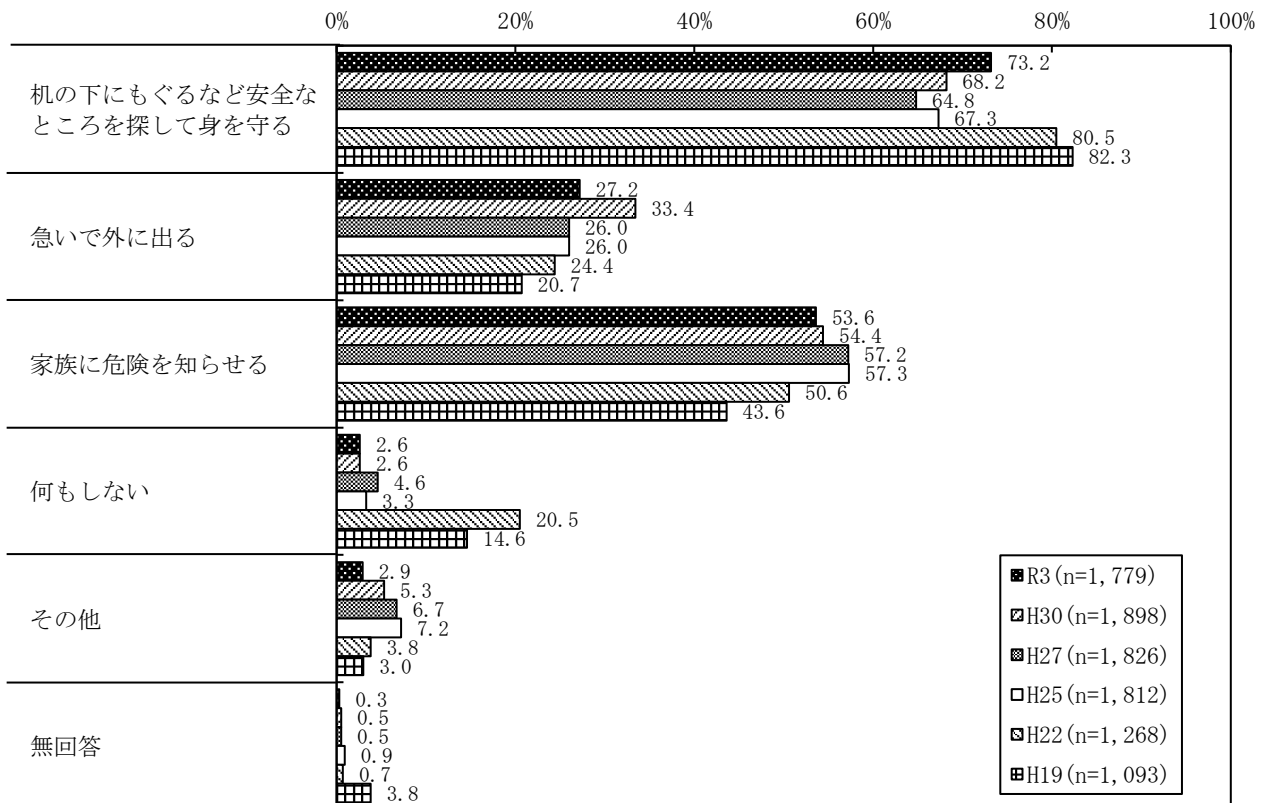
問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高く、次いで「家族に危険を知らせる」、「急いで外に出る」と続いている。

平成27年度以降「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が増加してきている。これは、まず自身の安全を第一に確保とするという意識がより定着してきた結果と考えられる。

	机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	急いで外に出る	家族に危険を知らせる	何もしない	その他	無回答	合計
R3	1,303 73.2	484 27.2	954 53.6	46 2.6	52 2.9	6 0.3	1,779
H30	1,295 68.2	634 33.4	1,032 54.4	49 2.6	100 5.3	9 0.5	1,898
H27	1,183 64.8	475 26.0	1,044 57.2	84 4.6	122 6.7	10 0.5	1,826
H25	1,220 67.3	471 26.0	1,038 57.3	60 3.3	130 7.2	17 0.9	1,812
H22	1,021 80.5	309 24.4	642 50.6	260 20.5	48 3.8	9 0.7	1,268
H19	900 82.3	226 20.7	477 43.6	160 14.6	33 3.0	42 3.8	1,093

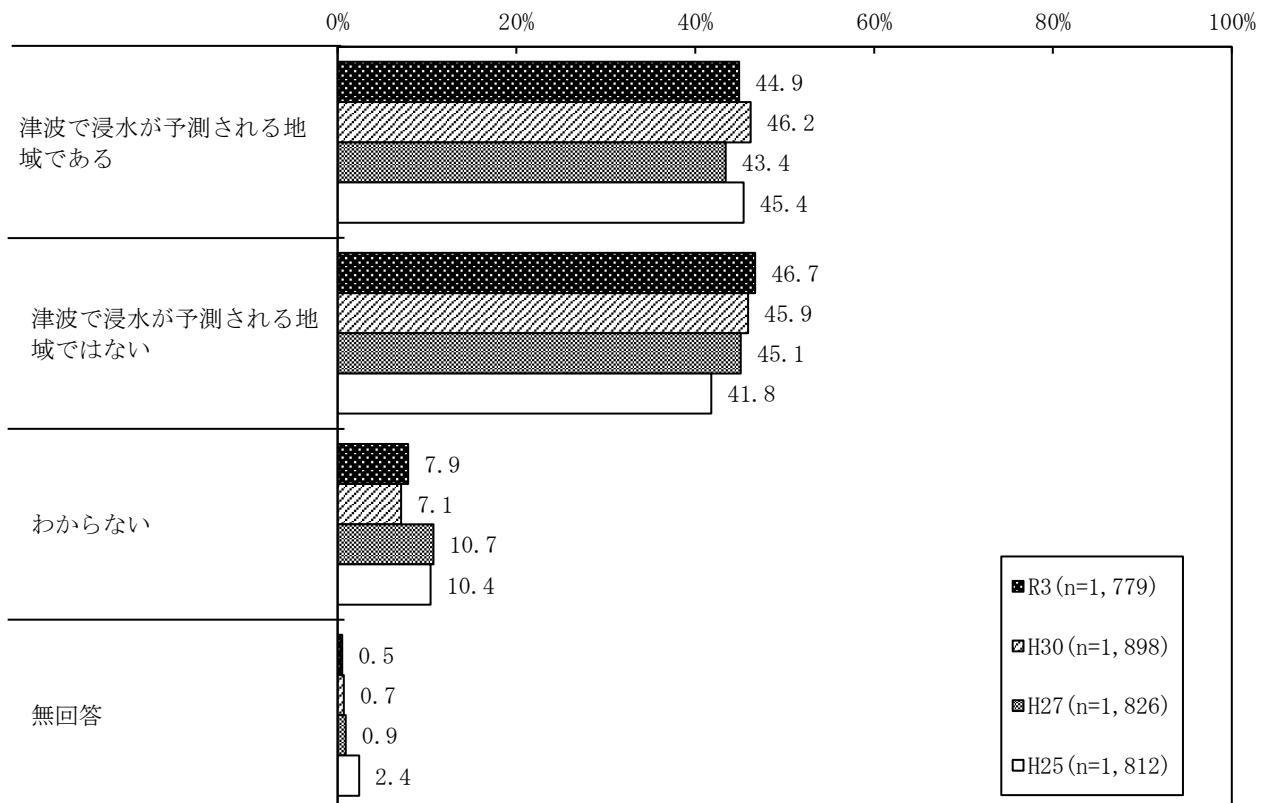
上段：人数
下段：%



問9 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな変化はない。

	上段：人数				合計
	下段：%				
	津波で浸水が予測される地域である	津波で浸水が予測される地域ではない	わからない	無回答	
R3	799 44.9	831 46.7	140 7.9	9 0.5	1,779 100.0
H30	877 46.2	872 45.9	135 7.1	14 0.7	1,898 100.0
H27	792 43.4	823 45.1	195 10.7	16 0.9	1,826 100.0
H25	823 45.4	758 41.8	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0



問10 問9で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

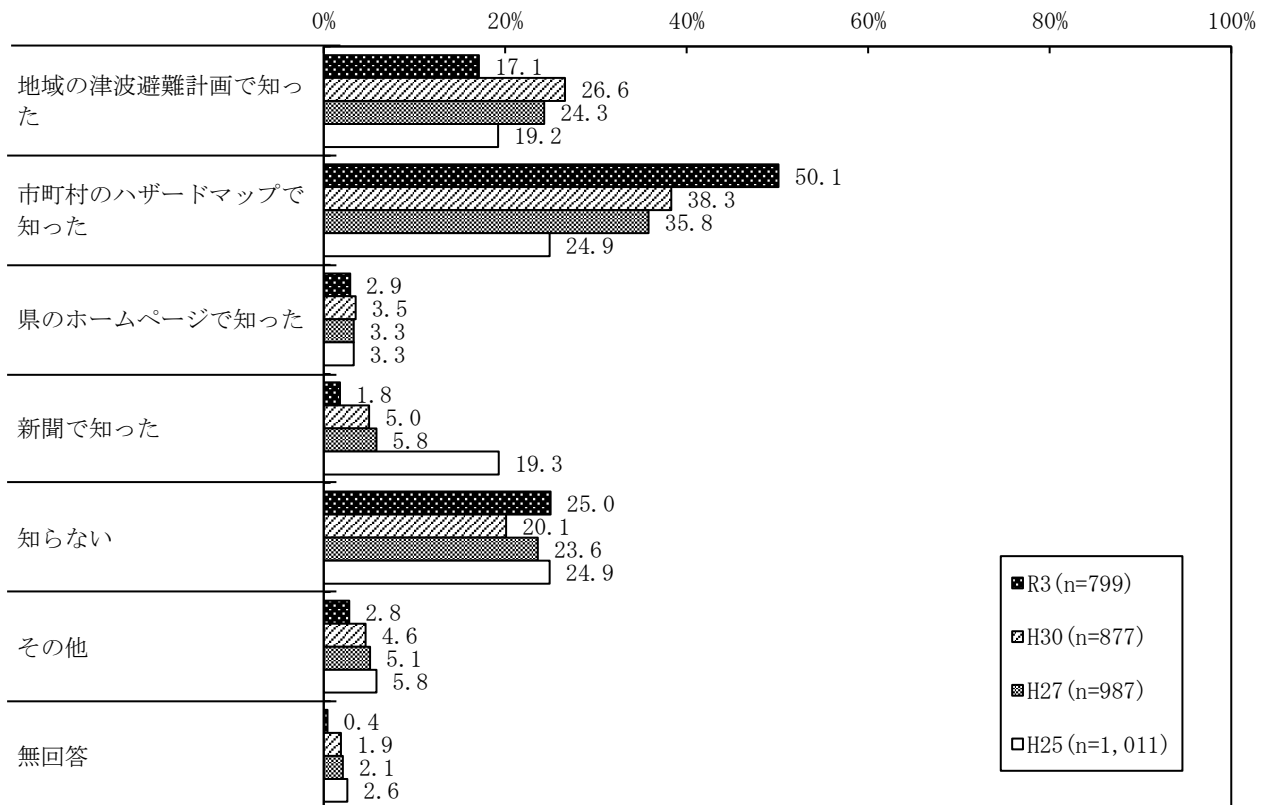
「市町村のハザードマップで知った」が年々増加しており、令和3年度は平成25年度の24.9%と比べると25.2ポイントの増加となっている。

逆に、「地域の津波避難計画で知った」は17.1%と各年度の中で最も低くなっている。

	上段：人数 下段：%							
	地域の津波避難計画で知った	市町村のハザードマップで知った	県のホームページで知った	新聞で知った	知らない	その他	無回答	合計
R3	137 17.1	400 50.1	23 2.9	14 1.8	200 25.0	22 2.8	3 0.4	799 100.0
H30 ^{※1}	233 26.6	336 38.3	31 3.5	44 5.0	176 20.1	40 4.6	17 1.9	877 100.0
H27 ^{※2}	240 24.3	353 35.8	33 3.3	57 5.8	233 23.6	50 5.1	21 2.1	987 100.0
H25 ^{※2}	194 19.2	252 24.9	33 3.3	195 19.3	252 24.9	59 5.8	26 2.6	1,011 100.0

※1 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数



問12 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

「揺れがおさまった後、すぐに」が令和3年度は70.8%と、平成16年度以降最も高く、逆に「津波警報が出たら」は平成16年度以降最も低くなっている。これは津波に対する避難活動の開始を迅速に行い、身の安全を守るという意識が定着してきた結果と考えられる。

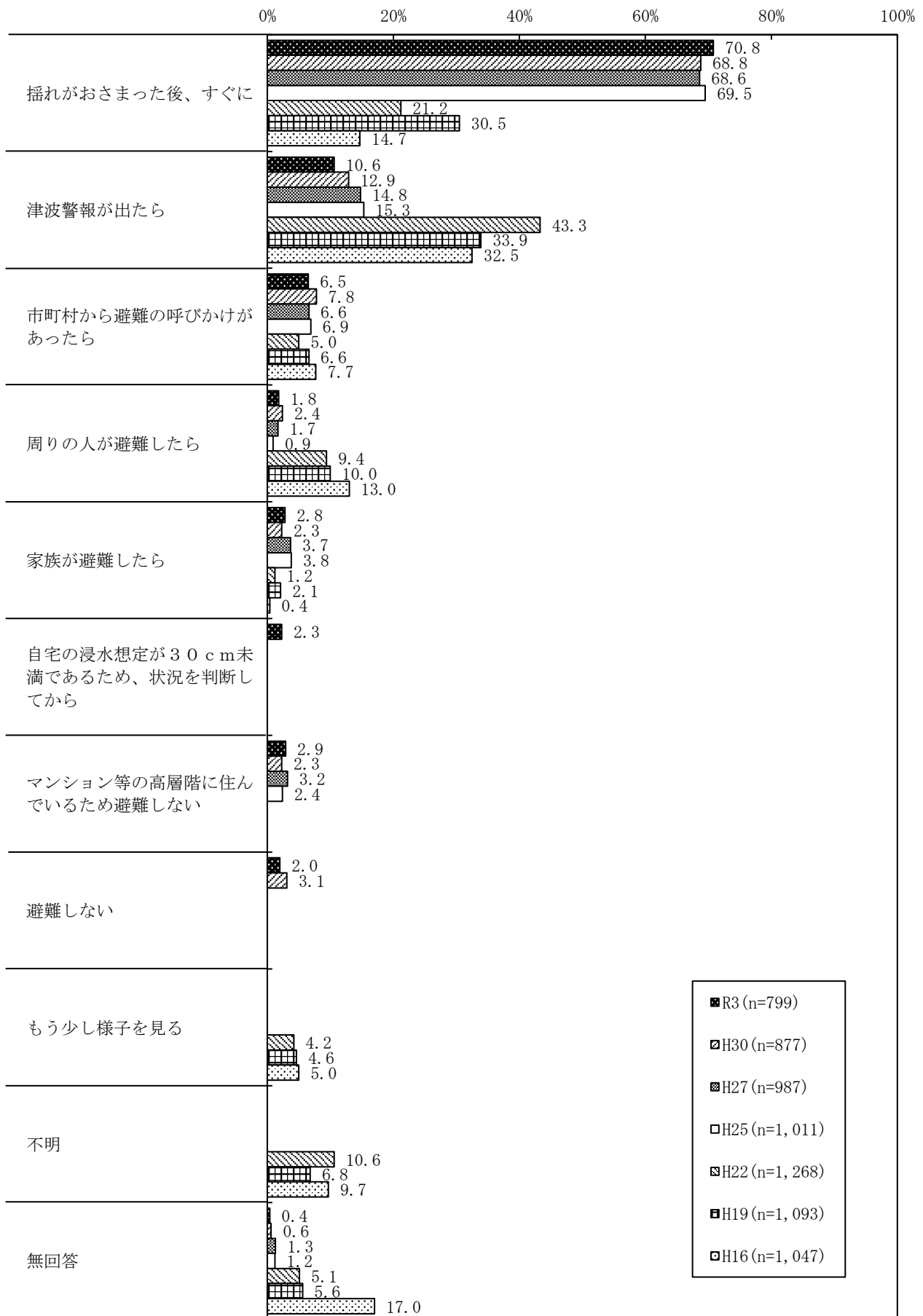
上段：人数
下段：%

	揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら ^{※1}	家族が避難したら	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	避難しない	もう少し様子を見る	不明	無回答	合計
R3	566 70.8	85 10.6	52 6.5	14 1.8	22 2.8	18 2.3	23 2.9	16 2.0	- -	- -	3 0.4	799 100.0
H30 ^{※2}	603 68.8	113 12.9	68 7.8	21 2.4	20 2.3	- -	20 2.3	27 3.1	- -	- -	5 0.6	877 100.0
H27 ^{※3}	677 68.6	146 14.8	65 6.6	17 1.7	37 3.7	- -	32 3.2	- -	- -	- -	13 1.3	987 100.0
H25 ^{※3}	703 69.5	155 15.3	70 6.9	9 0.9	38 3.8	- -	24 2.4	- -	- -	- -	12 1.2	1,011 100.0
H22	269 21.2	549 43.3	63 5.0	119 9.4	15 1.2	- -	- -	- -	53 4.2	134 10.6	65 5.1	1,268 100.0
H19	333 30.5	371 33.9	72 6.6	109 10.0	23 2.1	- -	- -	- -	50 4.6	74 6.8	61 5.6	1,093 100.0
H16	154 14.7	340 32.5	81 7.7	136 13.0	4 0.4	- -	- -	- -	52 5.0	102 9.7	178 17.0	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「近所の人が避難したら」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

※3 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数

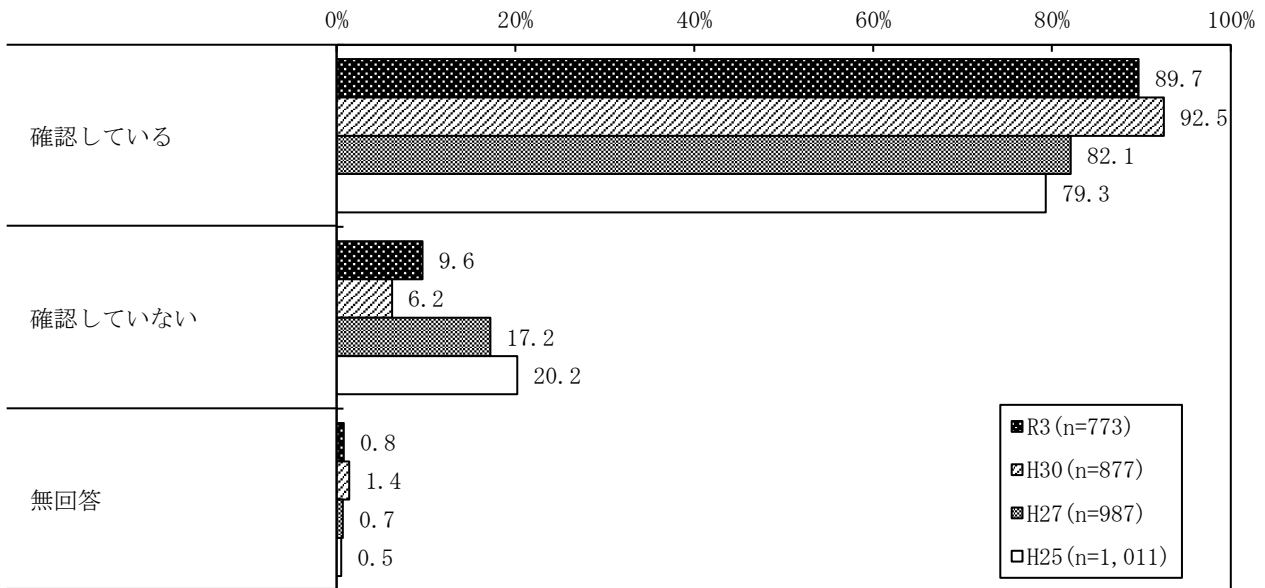


問14 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

「確認している」は、平成25年度から平成30年度までは、割合が高くなってきていたが、令和3年度では、平成30年度と比べて2.8ポイント減っており、さらなる周知徹底が求められる。

上段：人数
下段：%

	確認している	確認していない	無回答	合計
R3	693 89.7	74 9.6	6 0.8	773 100.0
H30	811 92.5	54 6.2	12 1.4	877 100.0
H27	810 82.1	170 17.2	7 0.7	987 100.0
H25	802 79.3	204 20.2	5 0.5	1,011 100.0



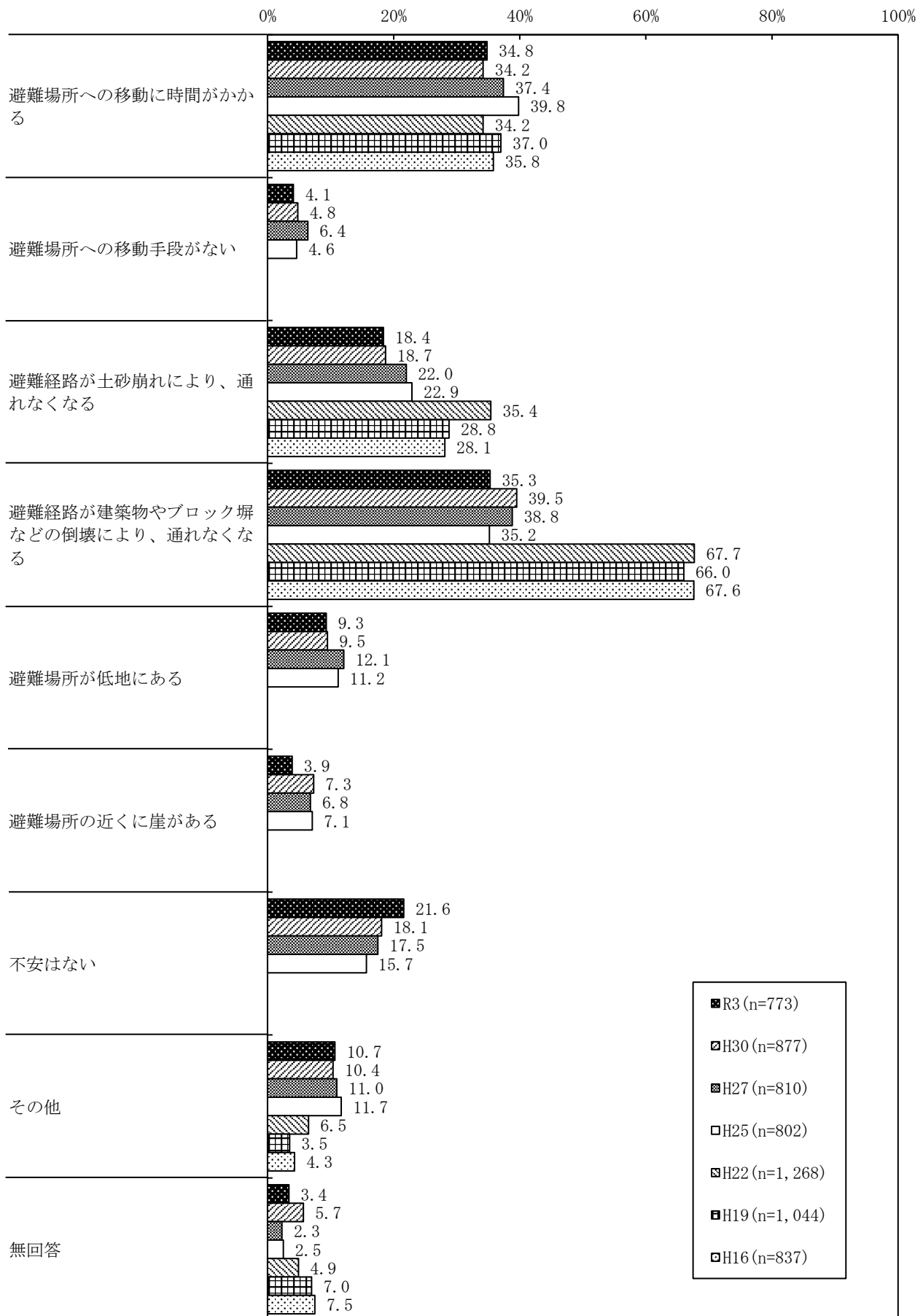
問16 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

「不安はない」は、平成25年以降割合が高くなってきている。「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」は、平成22年度以降割合が低くなってきている。

上段：人数
下段：%

	避難場所への移動に時間がかかる	避難場所への移動手段がない	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	避難場所が低地にある	避難場所の近くに崖がある	不安はない	その他	無回答	合計
R3	269 34.8	32 4.1	142 18.4	273 35.3	72 9.3	30 3.9	167 21.6	83 10.7	26 3.4	773
H30※ ₁	300 34.2	42 4.8	164 18.7	346 39.5	83 9.5	64 7.3	159 18.1	91 10.4	50 5.7	877
H27※ ₁	303 37.4	52 6.4	178 22.0	314 38.8	98 12.1	55 6.8	142 17.5	89 11.0	19 2.3	810
H25※ ₁	319 39.8	37 4.6	184 22.9	282 35.2	90 11.2	57 7.1	126 15.7	94 11.7	20 2.5	802
H22	434 34.2	- -	449 35.4	858 67.7	- -	- -	- -	82 6.5	62 4.9	1,268
H19	386 37.0	- -	301 28.8	689 66.0	- -	- -	- -	37 3.5	73 7.0	1,044
H16	300 35.8	- -	235 28.1	566 67.6	- -	- -	- -	36 4.3	63 7.5	837

※1 「津波からの避難場所を確認している」と答えた人数

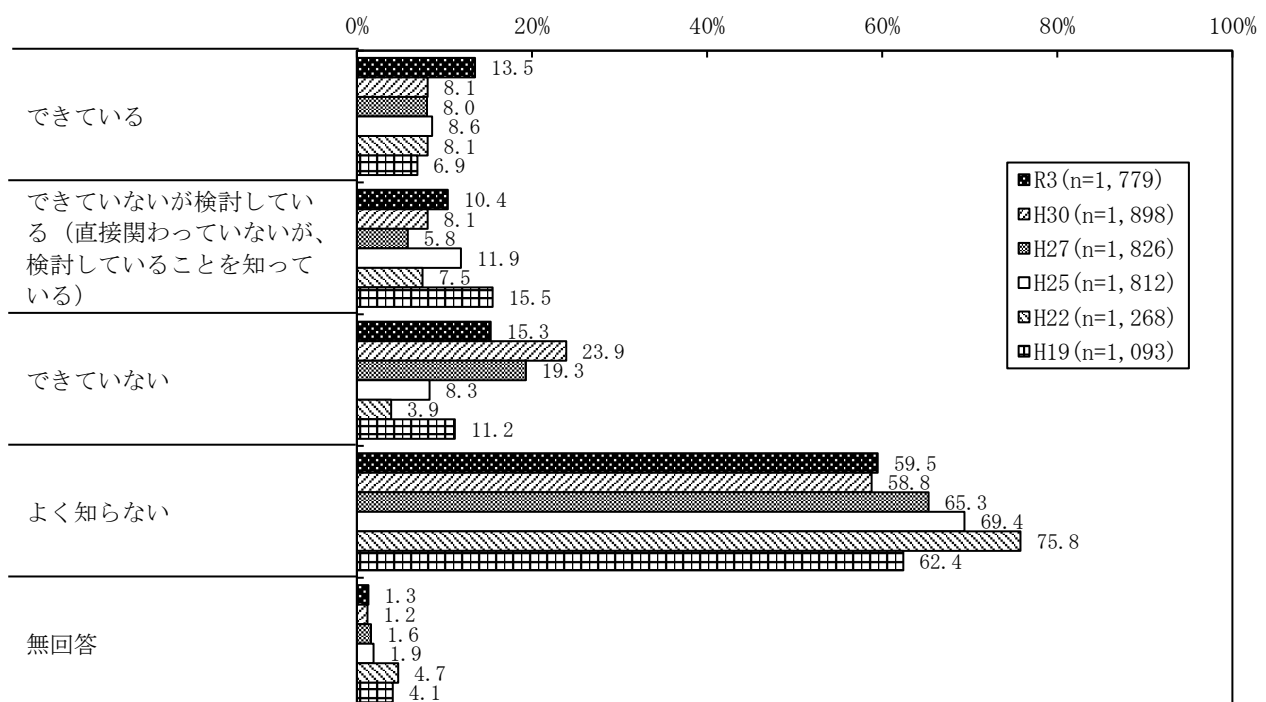


問18 あなたがお住まいの地域では、避難について支援が必要な方の避難を地域住民や自主防災組織が支援する体制（自力で避難することが難しい方の個別避難計画の作成や、避難後の対策等）ができていますか。（ひとつだけ〇）

「できている」が平成19年度以降最も高くなっており、「できていない」は低くなっている。
 「よく知らない」は、平成19年以降常に50%以上を占めており、更なる支援体制等の周知徹底が必要である。

上段：人数
 下段：%

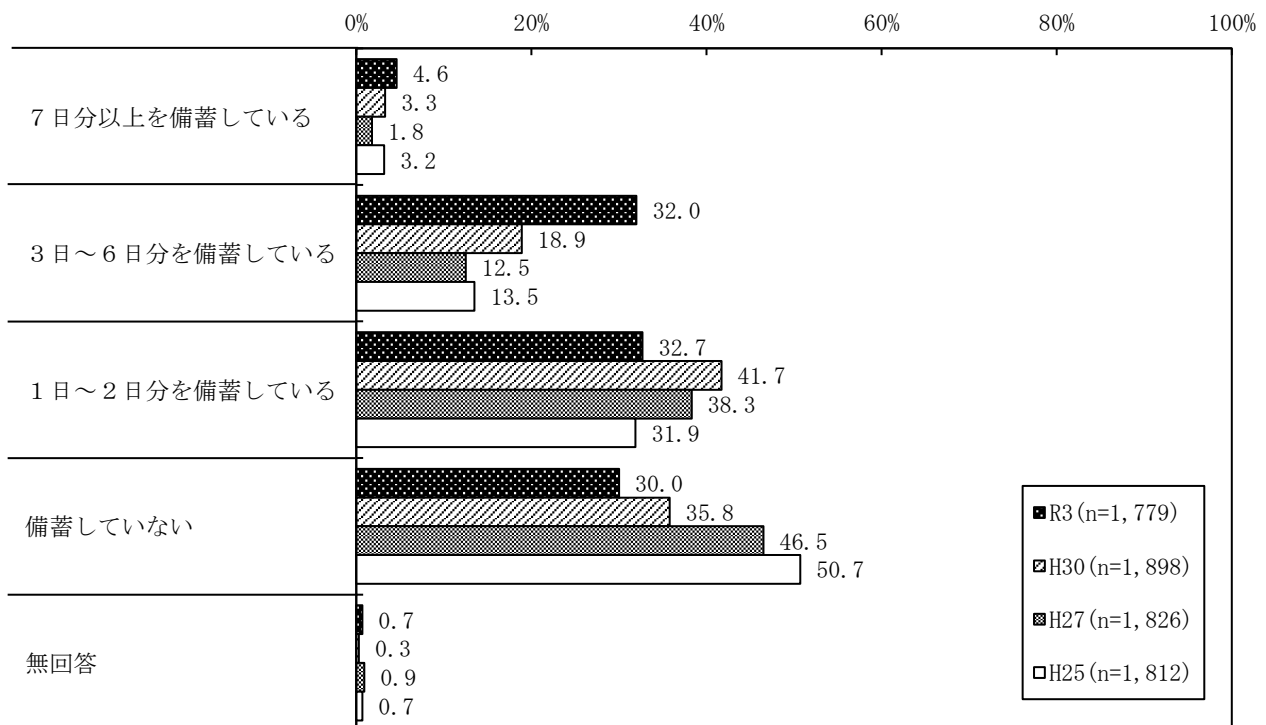
	できている	できていないが検討している (直接関わっていないが、検討していることを知っている)	できていない	よく知らない	無回答	合計
R3	240 13.5	185 10.4	272 15.3	1,058 59.5	24 1.3	1,779 100.0
H30	153 8.1	154 8.1	453 23.9	1,116 58.8	22 1.2	1,898 100.0
H27	146 8.0	106 5.8	353 19.3	1,192 65.3	29 1.6	1,826 100.0
H25	155 8.6	215 11.9	150 8.3	1,257 69.4	35 1.9	1,812 100.0
H22	101 8.1	88 7.5	63 3.9	963 75.8	63 4.7	1,268 100.0
H19	77 6.9	175 15.5	120 11.2	677 62.4	44 4.1	1,093 100.0



問19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含まれます。)(ひとつだけ○)

令和3年度では、「7日分以上を備蓄している」、「3日～6日分を備蓄している」の割合が高くなっており、特に「3日～6日分を備蓄している」では、平成30年度と比較して13.1ポイント増加している。「備蓄していない」は年々低くなっている。

	上段：人数					合計
	下段：%					
	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している	備蓄していない	無回答	
R3	82 4.6	570 32.0	582 32.7	533 30.0	12 0.7	1,779 100.0
H30	63 3.3	358 18.9	792 41.7	680 35.8	5 0.3	1,898 100.0
H27	33 1.8	228 12.5	699 38.3	849 46.5	17 0.9	1,826 100.0
H25	58 3.2	245 13.5	578 31.9	918 50.7	13 0.7	1,812 100.0



問20 問19で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日分以上の食料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

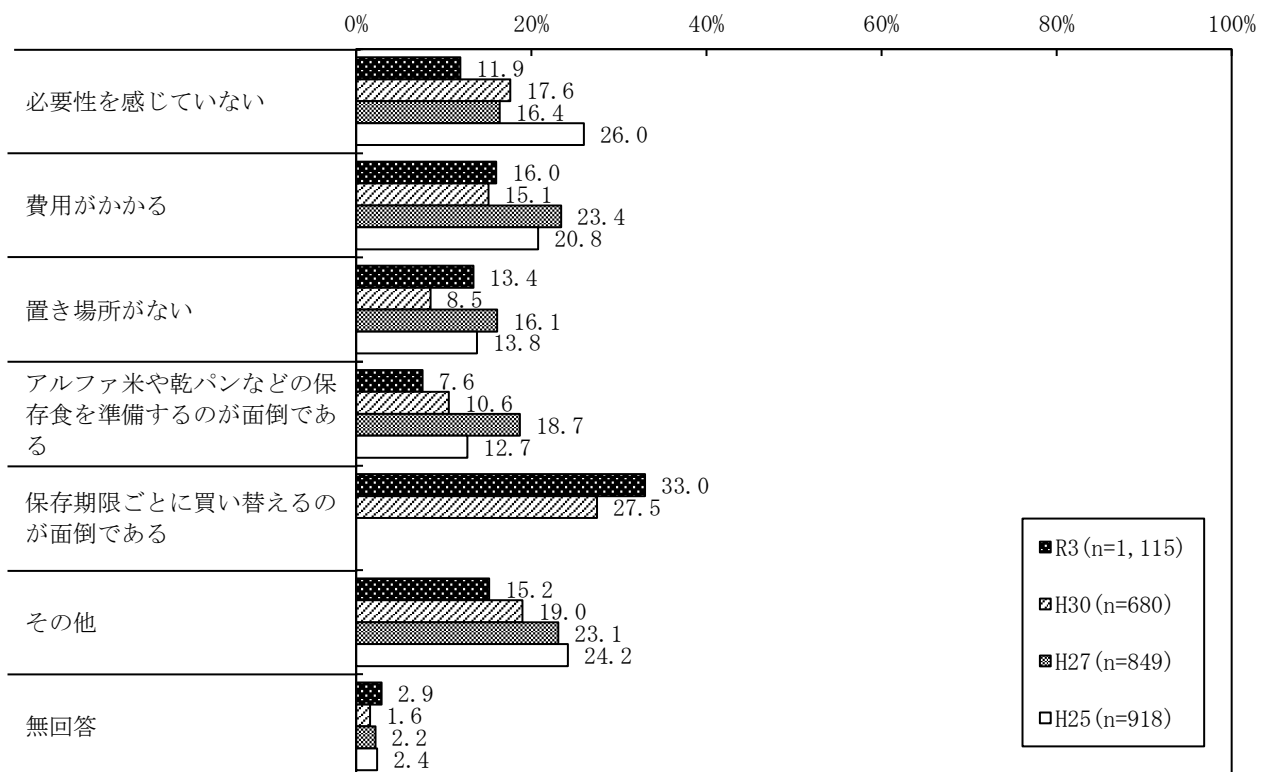
平成30年度に続き、「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が最も高くなっている。

	必要性を感じていない	費用がかかる	置き場所がない	アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である ^{※1}	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である ^{※2}	その他	無回答	合計
R3	133 11.9	178 16.0	149 13.4	85 7.6	368 33.0	170 15.2	32 2.9	1,115 100.0
H30	120 17.6	103 15.1	58 8.5	72 10.6	187 27.5	129 19.0	11 1.6	680 100.0
H27	139 16.4	199 23.4	137 16.1	159 18.7	- -	196 23.1	19 2.2	849 100.0
H25	239 26.0	191 20.8	127 13.8	117 12.7	- -	222 24.2	22 2.4	918 100.0

上段：人数
下段：%

※1 平成30年度以前は「手間がかかる」と答えた人数

※2 平成30年度は「賞味期限があるため」と答えた人数

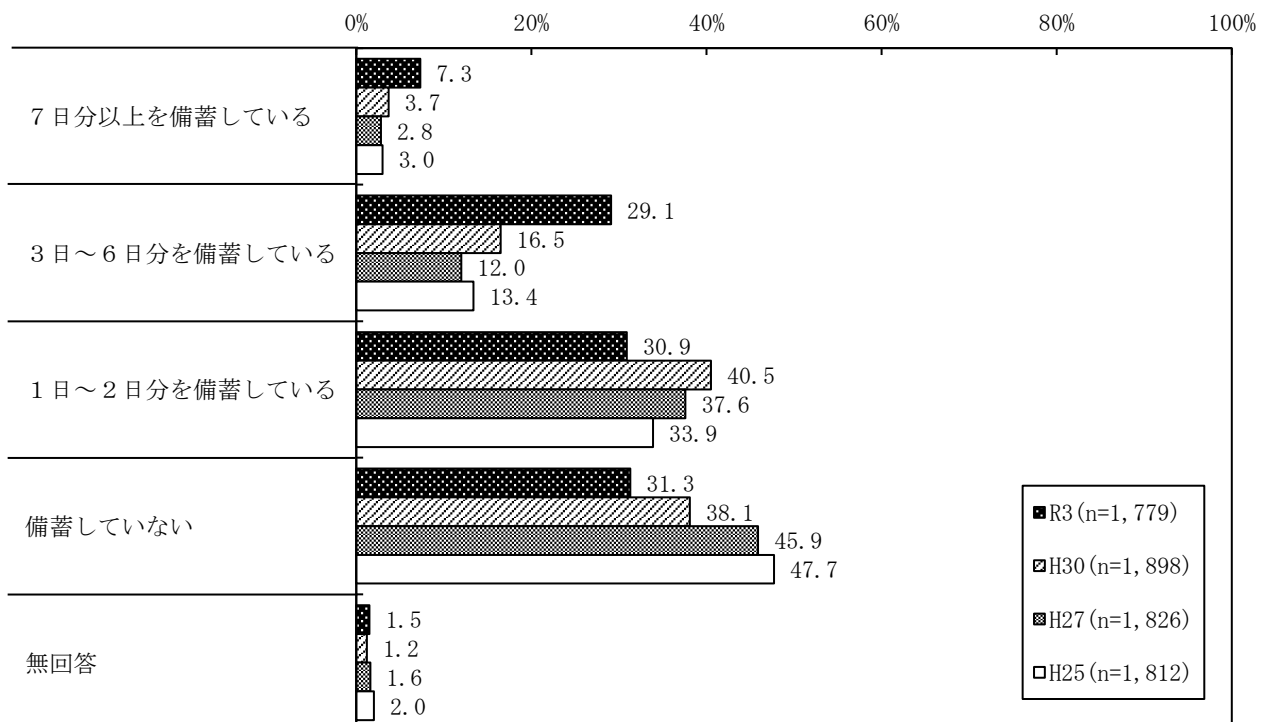


問21 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。(備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。)(ひとつだけ○)

食料品の傾向と同じく「3日～6日分を備蓄している」が平成30年度と比較して12.6ポイント増加しており、「備蓄していない」は年々減少している。

上段：人数
下段：%

	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している	備蓄していない	無回答	合計
R3	129 7.3	518 29.1	549 30.9	557 31.3	26 1.5	1,779 100.0
H30	71 3.7	313 16.5	768 40.5	724 38.1	22 1.2	1,898 100.0
H27	52 2.8	220 12.0	686 37.6	839 45.9	29 1.6	1,826 100.0
H25	54 3.0	242 13.4	614 33.9	865 47.7	37 2.0	1,812 100.0



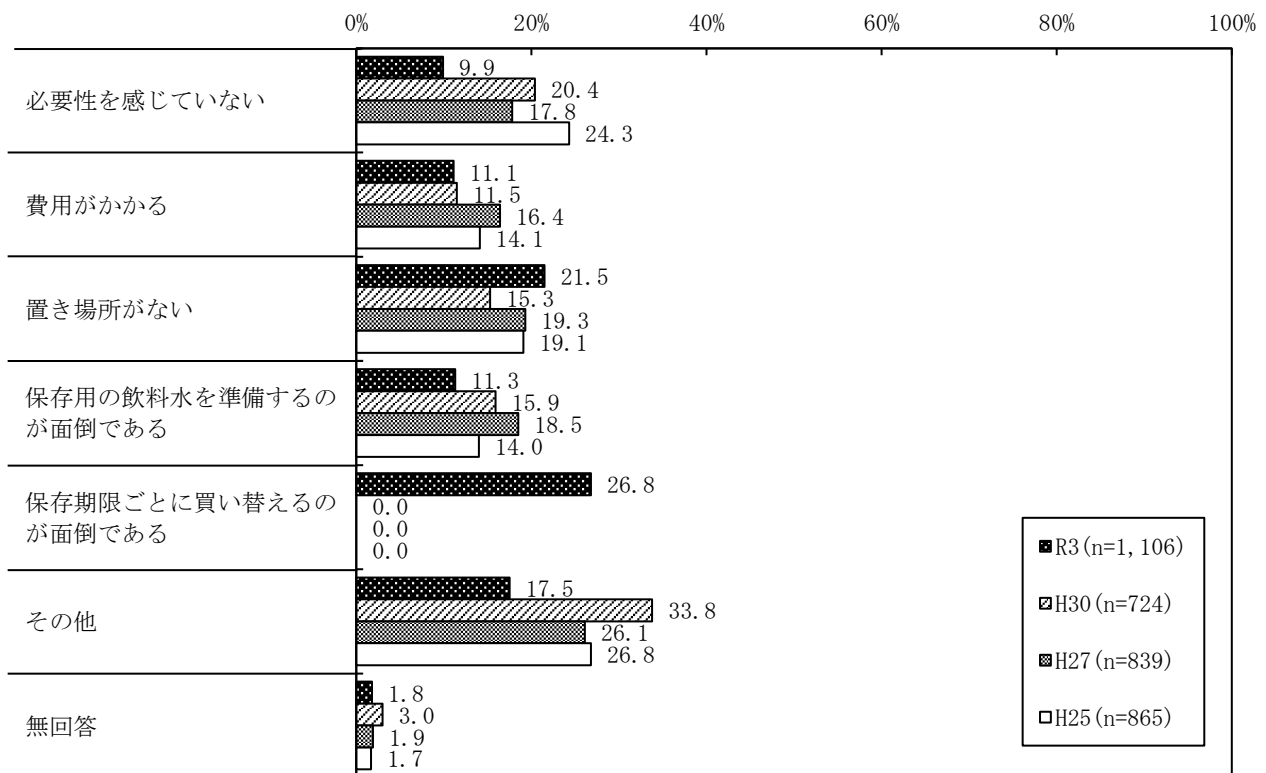
問22 問21で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日分以上の飲料を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

令和3年度は、平成25年以降高い割合だった「必要性を感じていない」が10.5ポイント減少し、新規項目の「保存期限ごとに買い替えるのが面倒である」が最も高くなっている。

	必要性を感じていない	費用がかかる	置き場所がない	保存用の飲料水を準備するのが面倒である※1	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	その他	無回答	合計
R3	110 9.9	123 11.1	238 21.5	125 11.3	296 26.8	194 17.5	20 1.8	1,106 100.0
H30	148 20.4	83 11.5	111 15.3	115 15.9	- -	245 33.8	22 3.0	724 100.0
H27	149 17.8	138 16.4	162 19.3	155 18.5	- -	219 26.1	16 1.9	839 100.0
H25	210 24.3	122 14.1	165 19.1	121 14.0	- -	232 26.8	15 1.7	865 100.0

上段：人数
下段：%

※1 平成30年度以降は「手間がかかる」と答えた人数



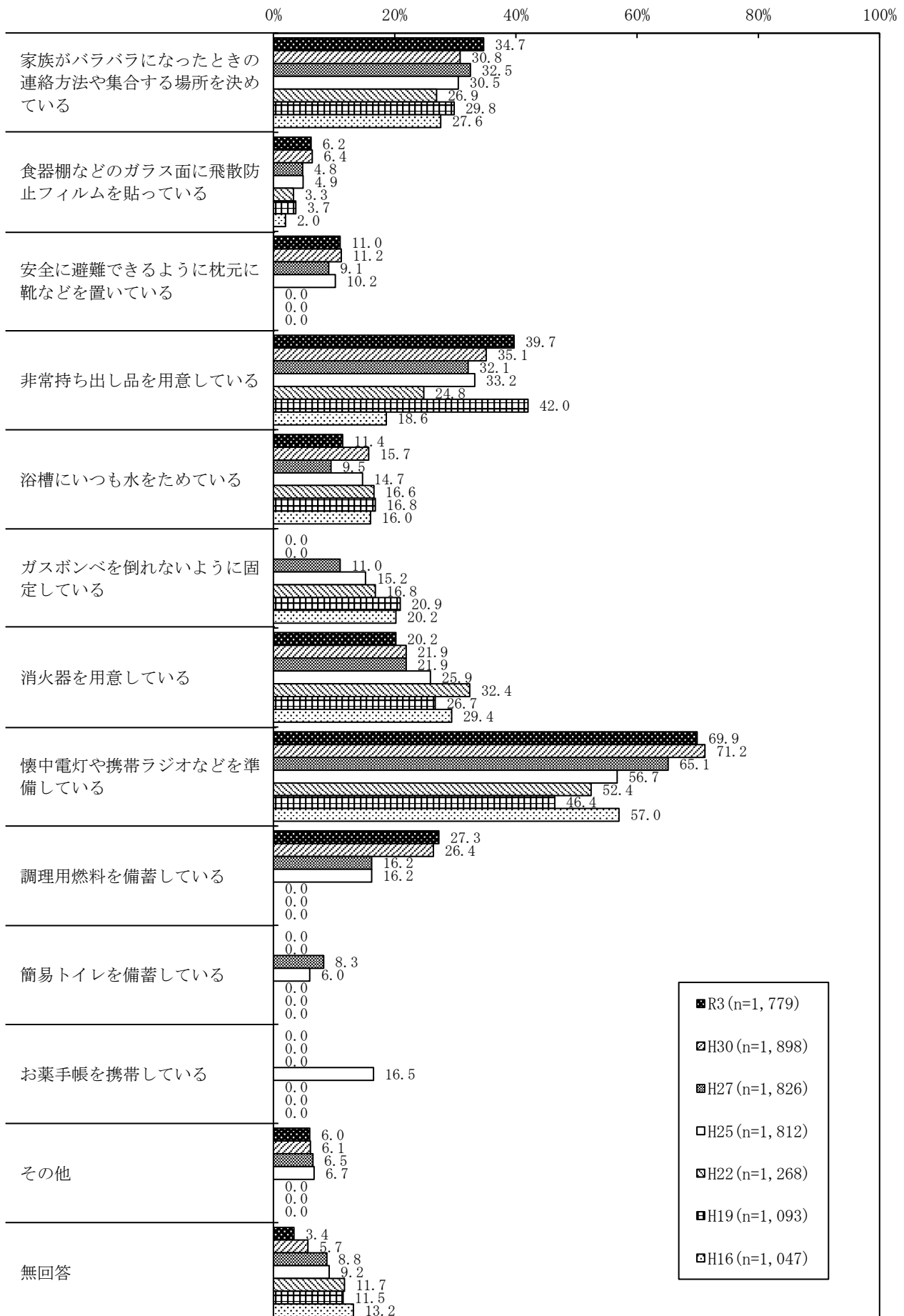
問25 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。

(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	非常持ち出し品を用意している	浴槽にいつも水をためている	ガスボンベを倒れないように固定している	消火器を用意している	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	調理用燃料を備蓄している	簡易トイレを備蓄している	お薬手帳を携帯している	その他	無回答	合計
R3	618 34.7	111 6.2	196 11.0	706 39.7	202 11.4	- -	359 20.2	1,243 69.9	486 27.3	- -	- -	107 6.0	60 3.4	1,779
H30	585 30.8	121 6.4	212 11.2	667 35.1	298 15.7	- -	415 21.9	1,352 71.2	501 26.4	- -	- -	115 6.1	109 5.7	1,898
H27	594 32.5	87 4.8	166 9.1	587 32.1	173 9.5	200 11.0	399 21.9	1,189 65.1	296 16.2	151 8.3	- -	119 6.5	161 8.8	1,826
H25	552 30.5	88 4.9	185 10.2	601 33.2	266 14.7	276 15.2	469 25.9	1,028 56.7	294 16.2	109 6.0	299 16.5	122 6.7	167 9.2	1,812
H22	341 26.9	42 3.3	- -	314 24.8	210 16.6	213 16.8	411 32.4	664 52.4	- -	- -	- -	- -	148 11.7	1,268
H19	326 29.8	40 3.7	- -	459 42.0	184 16.8	228 20.9	292 26.7	507 46.4	- -	- -	- -	- -	126 11.5	1,093
H16	289 27.6	21 2.0	- -	195 18.6	168 16.0	211 20.2	308 29.4	597 57.0	- -	- -	- -	- -	138 13.2	1,047

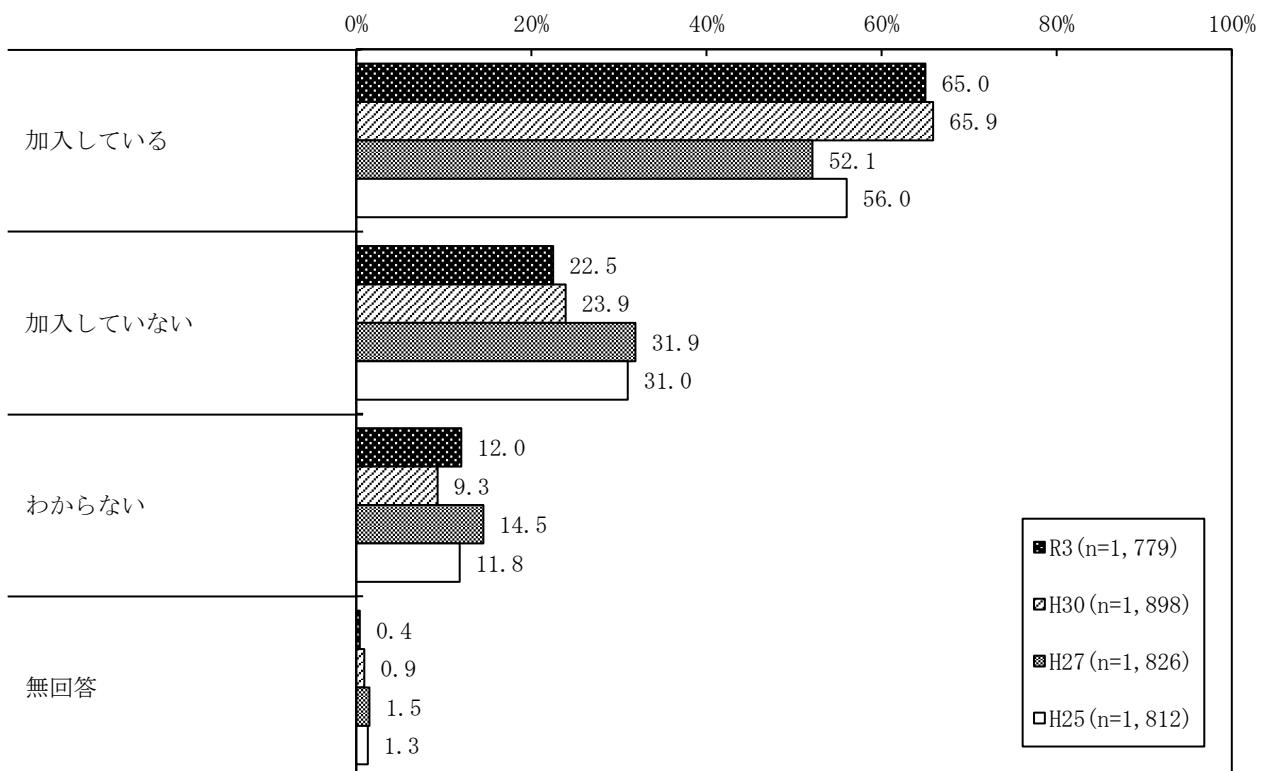


問29 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

「加入していない」が平成25年以降割合が減少している。

上段：人数
下段：%

	加入している	加入していない	わからない	無回答	合計
R3	1,156 65.0	401 22.5	214 12.0	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,250 65.9	454 23.9	176 9.3	18 0.9	1,898 100.0
H27	952 52.1	582 31.9	264 14.5	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,014 56.0	561 31.0	214 11.8	23 1.3	1,812 100.0



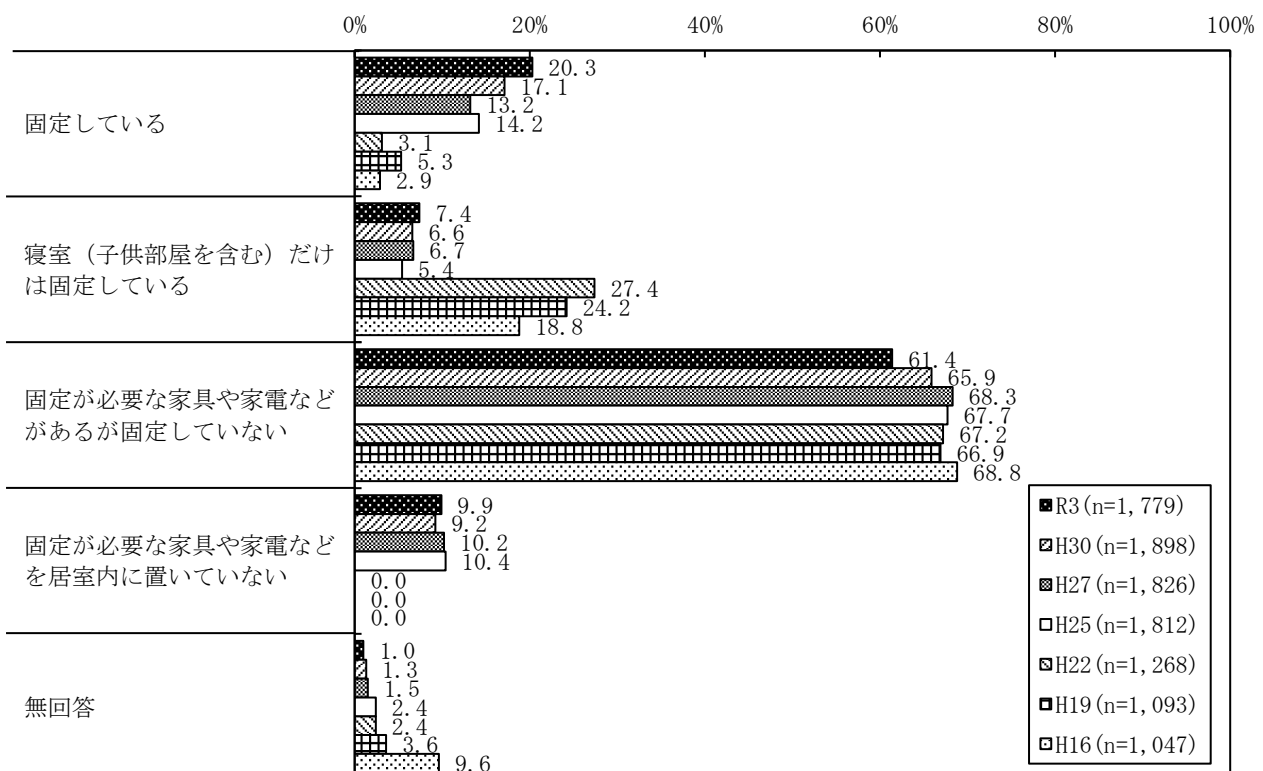
問32 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

「固定している」は、平成27年度以降高くなってきているが割合はまだ低く、各年度とも「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高いため、さらなる啓発が必要である。

	上段：人数 下段：%					合計
	固定している	寝室（子供部屋を含む） だけは固定している※ ₁	固定が必要な家具や 家電などがあるが固 定していない※ ₂	固定が必要な家具や 家電などを居室内に 置いていない	無回 答	
R3	361 20.3	131 7.4	1,093 61.4	176 9.9	18 1.0	1,779 100.0
H30	324 17.1	125 6.6	1,251 65.9	174 9.2	24 1.3	1,898 100.0
H27	241 13.2	123 6.7	1,248 68.3	186 10.2	28 1.5	1,826 100.0
H25	257 14.2	98 5.4	1,226 67.7	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0
H22	39 3.1	347 27.4	852 67.2	-	30 2.4	1,268 100.0
H19	58 5.3	265 24.2	731 66.9	-	39 3.6	1,093 100.0
H16	30 2.9	197 18.8	720 68.8	-	100 9.6	1,047 100.0

※1 平成22年度以前は「一部固定している」と答えた人数

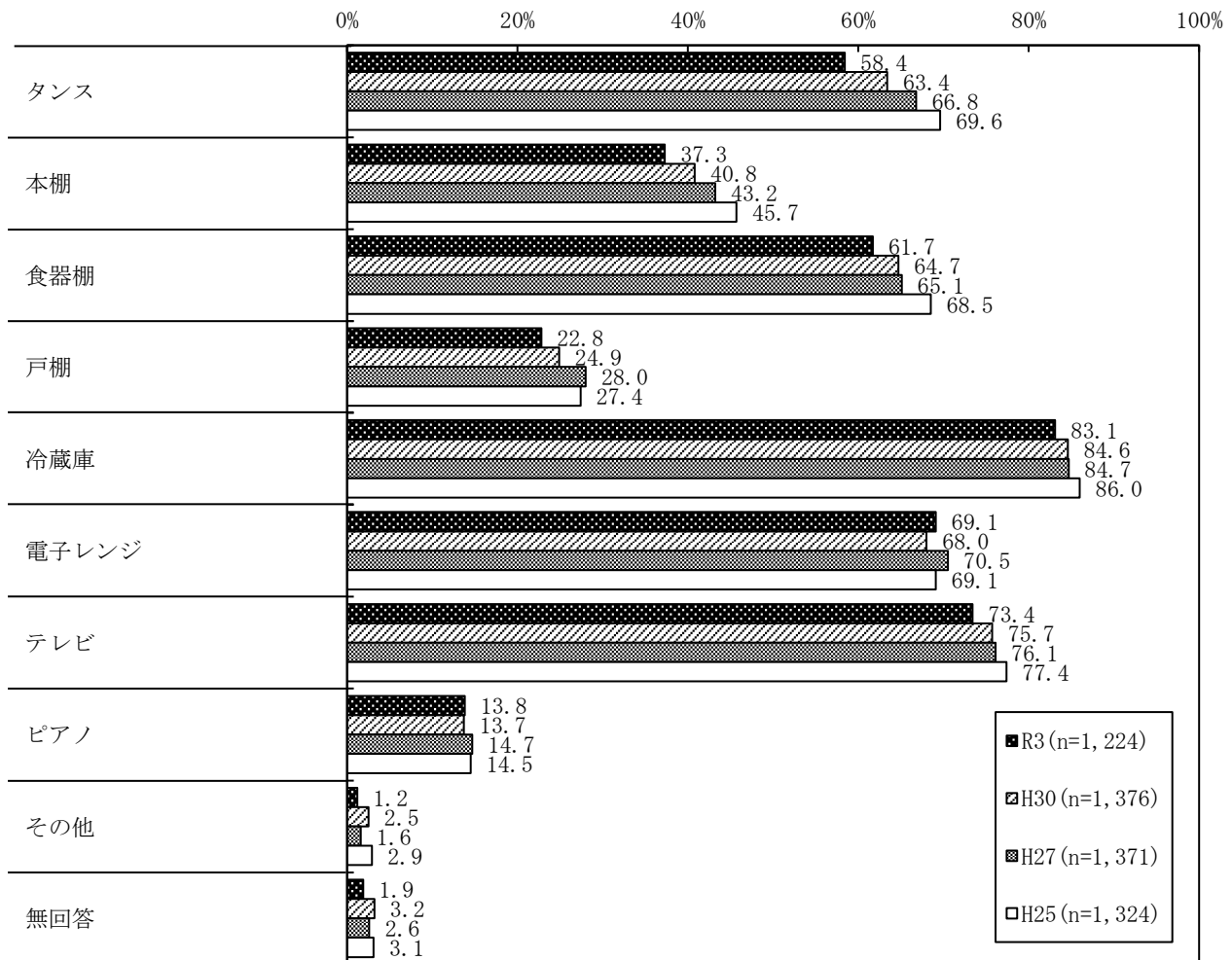
※2 平成22年度以前は「固定していない」と答えた人数



問33 問32で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」、「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。固定していない家具や家電などとは何ですか。（当てはまるものすべてに○）

大きく、重い「冷蔵庫」、「テレビ」、「電子レンジ」は依然として高い割合のままであり、従来通りの啓発方法では効果が少なく、新しい施策が必要と思われる。一方、「タンス」、「本棚」などは年々割合が減少している。

	上段：人数										合計
	下段：%										
	タンス	本棚	食器棚	戸棚	冷蔵庫	電子レンジ	テレビ	ピアノ	その他	無回答	
R3	715 58.4	456 37.3	755 61.7	279 22.8	1,017 83.1	846 69.1	898 73.4	169 13.8	15 1.2	23 1.9	1,224
H30※1	873 63.4	561 40.8	890 64.7	342 24.9	1,164 84.6	936 68.0	1,041 75.7	188 13.7	35 2.5	44 3.2	1,376
H27	916 66.8	592 43.2	892 65.1	384 28.0	1,161 84.7	967 70.5	1,043 76.1	202 14.7	22 1.6	36 2.6	1,371
H25	921 69.6	605 45.7	907 68.5	363 27.4	1,138 86.0	915 69.1	1,025 77.4	192 14.5	39 2.9	41 3.1	1,324



問34 家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○)

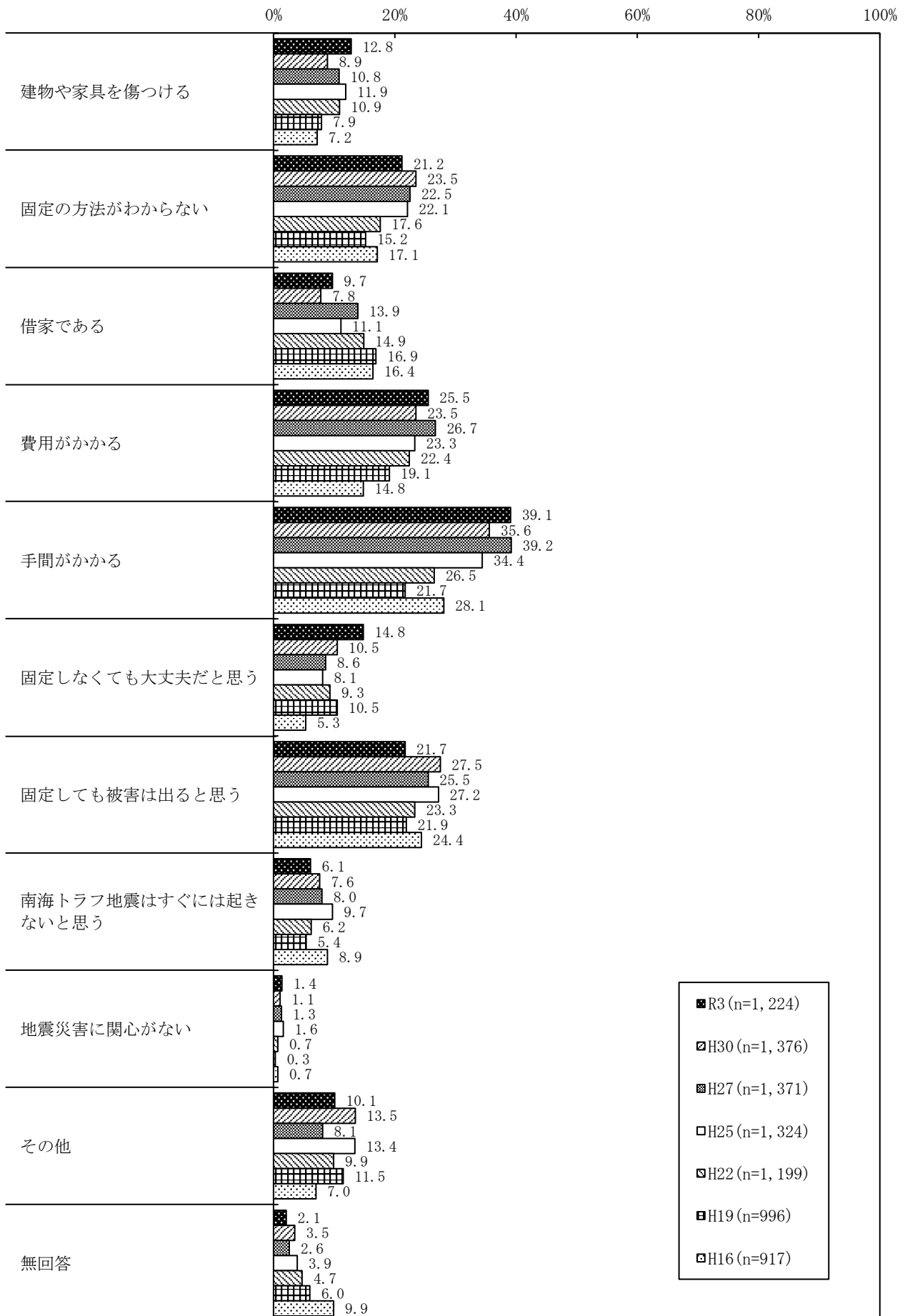
各年度とも「手間がかかる」が最も高くなっている。

上段：人数
下段：%

	建物や家具を傷つける	固定の方法がわからない	借家である	費用がかかる	手間がかかる	固定しなくても大丈夫だと思う	固定しても被害は出ると思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震災害に関心がない	その他	無回答	合計
R3	157 12.8	259 21.2	119 9.7	312 25.5	479 39.1	181 14.8	265 21.7	75 6.1	17 1.4	124 10.1	26 2.1	1,224
H30※1	122 8.9	324 23.5	108 7.8	323 23.5	490 35.6	144 10.5	378 27.5	105 7.6	15 1.1	186 13.5	48 3.5	1,376
H27※1	148 10.8	309 22.5	191 13.9	366 26.7	538 39.2	118 8.6	350 25.5	109 8.0	18 1.3	111 8.1	36 2.6	1,371
H25※1	158 11.9	293 22.1	147 11.1	308 23.3	455 34.4	107 8.1	360 27.2	128 9.7	21 1.6	178 13.4	51 3.9	1,324
H22※2	131 10.9	211 17.6	179 14.9	269 22.4	318 26.5	112 9.3	279 23.3	74 6.2	8 0.7	119 9.9	56 4.7	1,199
H19※2	79 7.9	151 15.2	168 16.9	190 19.1	216 21.7	105 10.5	218 21.9	54 5.4	3 0.3	115 11.5	60 6.0	996
H16※2	66 7.2	157 17.1	150 16.4	136 14.8	258 28.1	49 5.3	224 24.4	82 8.9	6 0.7	64 7.0	91 9.9	917

※1 「寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」・「固定が必要な家具や家電はあるが固定していない」と答えた人数

※2 「固定はしていない」・「一部固定している」と答えた人数

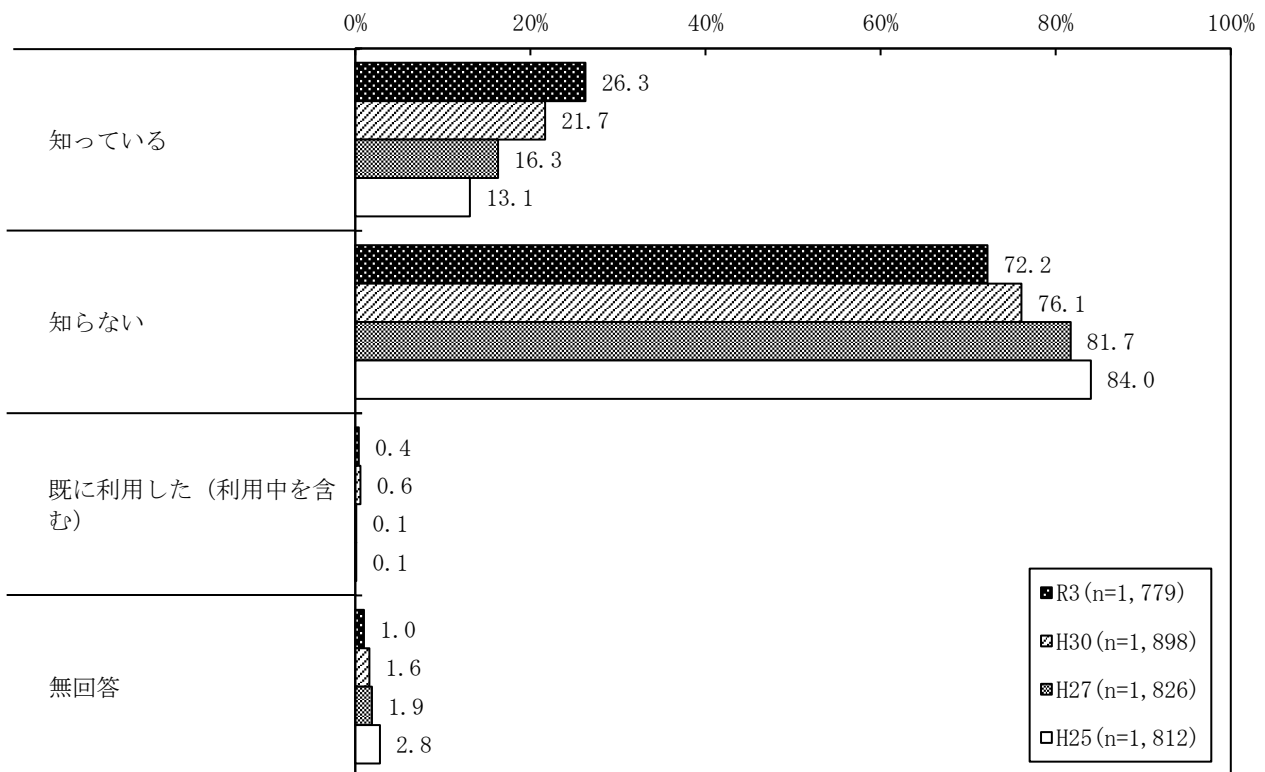


問35 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。

(ひとつだけ○)

「知っている」は年々増加しており、令和3年度では26.3%となっており、平成25年度の13.1%から13.2ポイント増加している。

	上段：人数				合計
	下段：%				
	知っている	知らない	既に利用した (利用中を含む)	無回答	
R3	468 26.3	1,285 72.2	8 0.4	18 1.0	1,779 100.0
H30	411 21.7	1,445 76.1	12 0.6	30 1.6	1,898 100.0
H27	298 16.3	1,491 81.7	2 0.1	35 1.9	1,826 100.0
H25	238 13.1	1,522 84.0	1 0.1	51 2.8	1,812 100.0



問36 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

平成25年以降「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」が増加している。

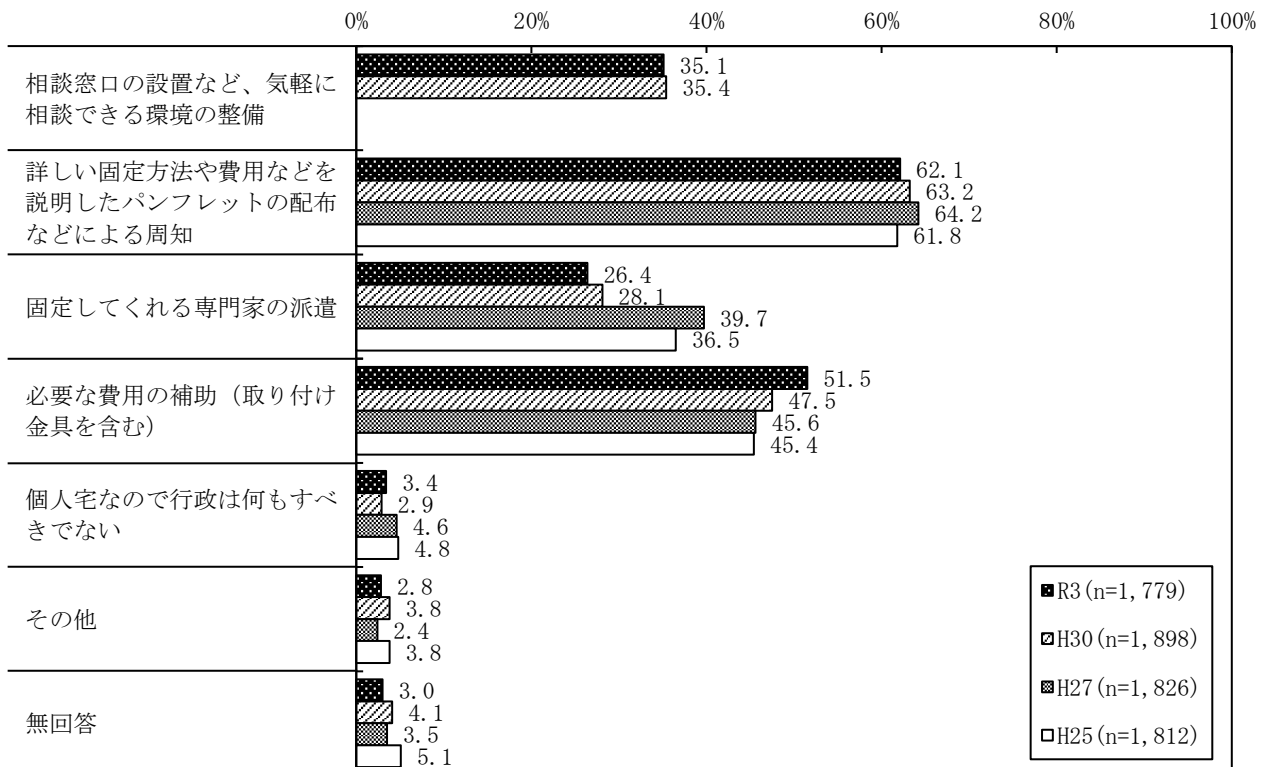
各年度とも「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が最も高くなっており、更なる周知徹底必要である。

	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知 ^{※1}	固定してくれる専門家の派遣 ^{※2}	必要な費用の補助（取り付け金具を含む）	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R3	625 35.1	1,104 62.1	469 26.4	917 51.5	61 3.4	49 2.8	53 3.0	1,779
H30	672 35.4	1,200 63.2	533 28.1	901 47.5	55 2.9	72 3.8	78 4.1	1,898
H27	- -	1,173 64.2	725 39.7	833 45.6	84 4.6	43 2.4	63 3.5	1,826
H25	- -	1,119 61.8	661 36.5	823 45.4	87 4.8	69 3.8	92 5.1	1,812

上段：人数
下段：%

※1 平成27年度以前は「詳しい方法や費用の広報」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「無料で固定してくれる専門家の派遣」と答えた人数

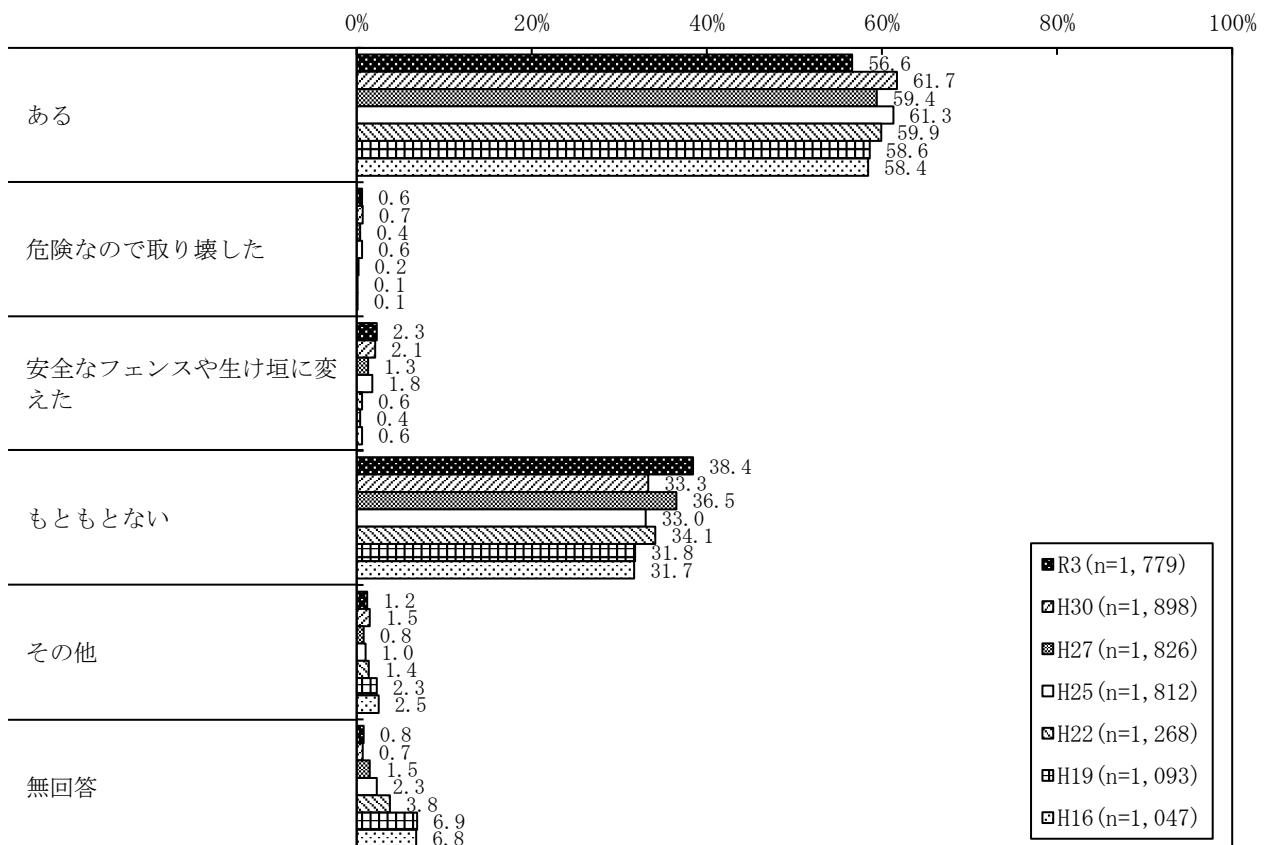


問37 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

各年代とも大きな差はないが、「ある」が56.6%と各年代の中で最も低くなっている。

	ある	危険なので取り壊した	安全なフェンスや生け垣に変えた	もともとない	その他	無回答	合計
R3	1,007 56.6	11 0.6	41 2.3	684 38.4	22 1.2	14 0.8	1,779 100.0
H30	1,172 61.7	13 0.7	39 2.1	632 33.3	28 1.5	14 0.7	1,898 100.0
H27	1,085 59.4	8 0.4	24 1.3	666 36.5	15 0.8	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,111 61.3	10 0.6	32 1.8	598 33.0	19 1.0	42 2.3	1,812 100.0
H22	760 59.9	3 0.2	8 0.6	432 34.1	18 1.4	48 3.8	1,268 100.0
H19	640 58.6	1 0.1	4 0.4	348 31.8	25 2.3	75 6.9	1,093 100.0
H16	611 58.4	1 0.1	6 0.6	331 31.7	26 2.5	71 6.8	1,047 100.0

上段：人数
下段：%



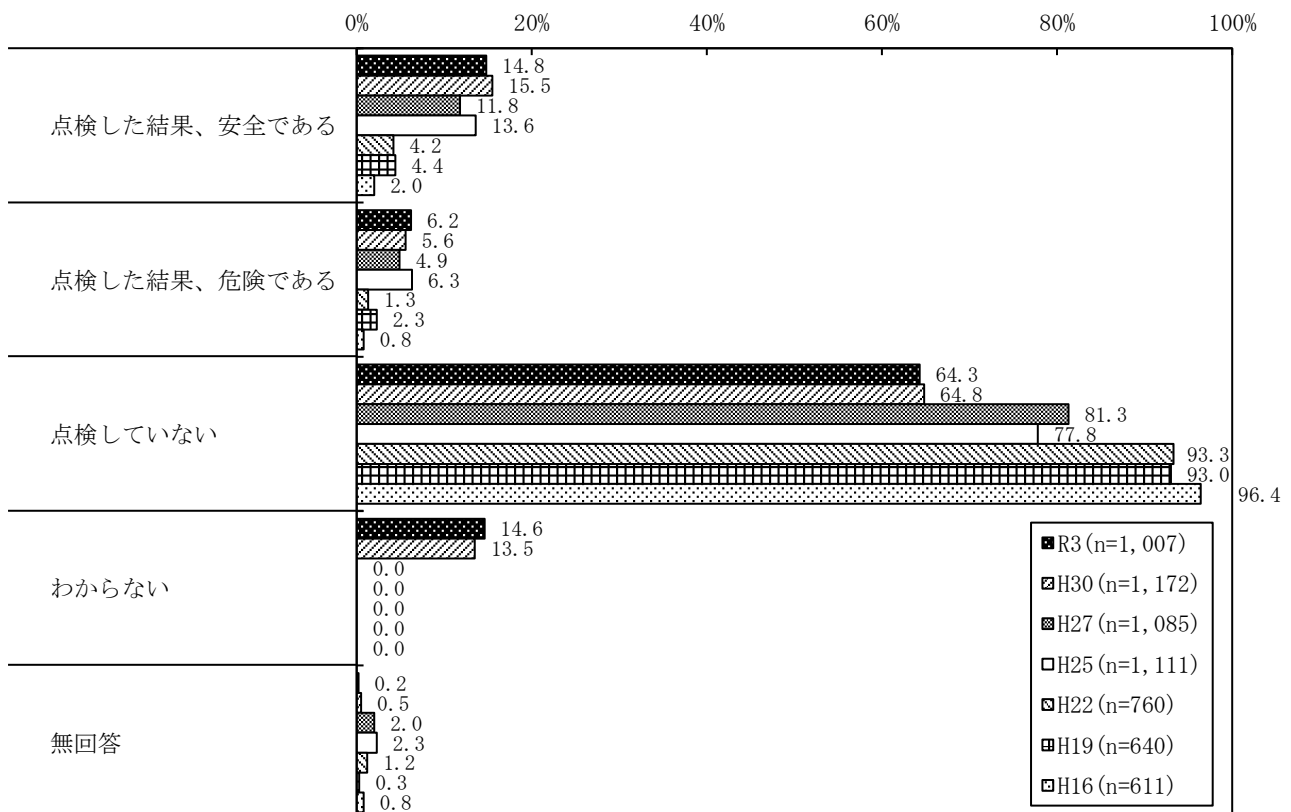
問38 問37で「1. ある」と回答した人におたずねします。ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

各年度とも「点検していない」が最も高く、令和3年度でも64.3%となっているが、平成16年度以降減少の傾向にある。

	点検した結果、安全である	点検した結果、危険である	点検していない	わからない	無回答	合計
R3	149 14.8	62 6.2	647 64.3	147 14.6	2 0.2	1,007 100.0
H30 ^{※1}	182 15.5	66 5.6	760 64.8	158 13.5	6 0.5	1,172 100.0
H27 ^{※1}	128 11.8	53 4.9	882 81.3	-	22 2.0	1,085 100.0
H25 ^{※1}	151 13.6	70 6.3	864 77.8	-	26 2.3	1,111 100.0
H22	32 4.2	10 1.3	709 93.3	-	9 1.2	760 100.0
H19	28 4.4	15 2.3	595 93.0	-	2 0.3	640 100.0
H16	12 2.0	5 0.8	589 96.4	-	5 0.8	611 100.0

上段：人数
下段：%

※1 「敷地にブロック塀や石塀・門柱などがある」と答えた人数



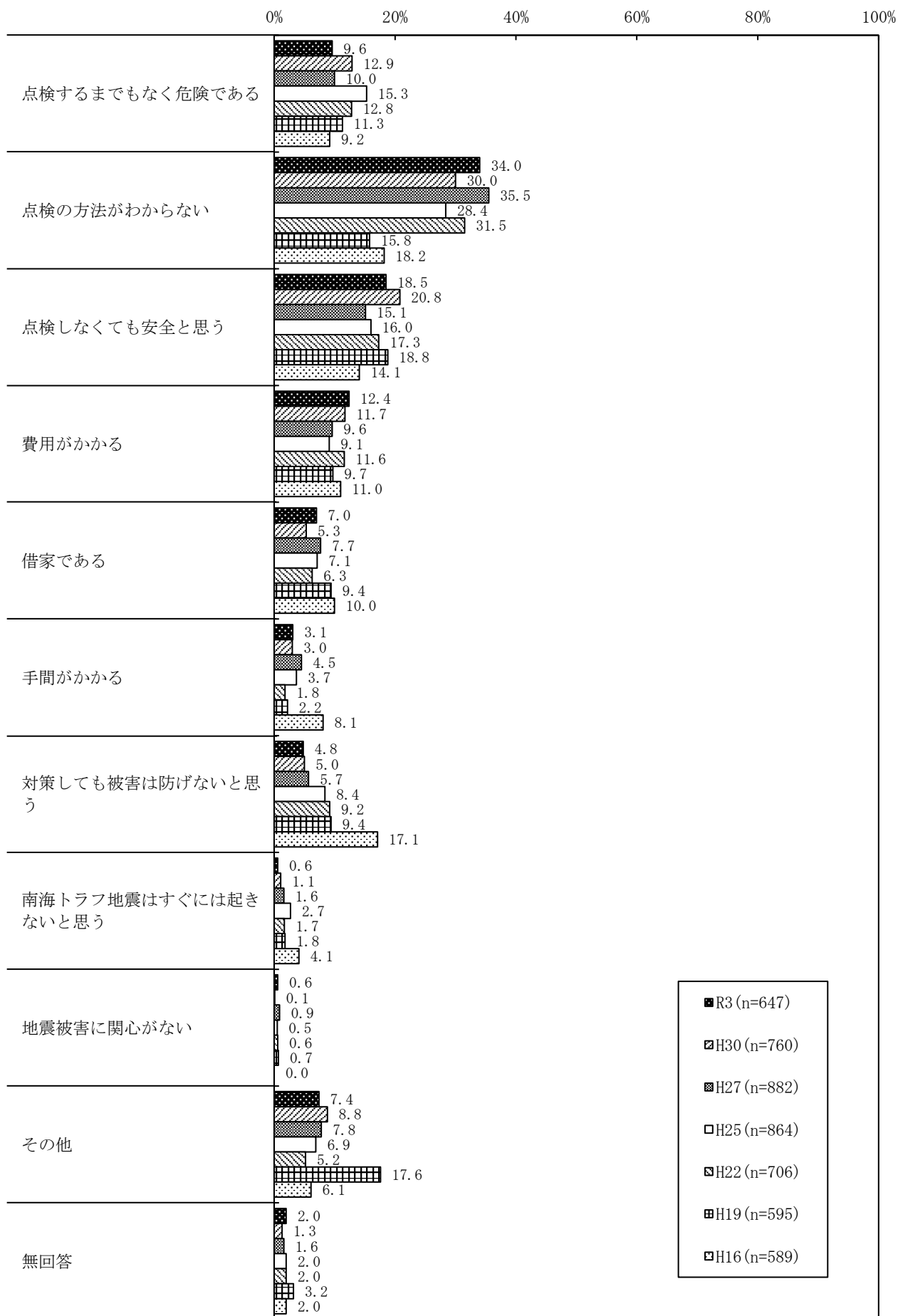
問39 問38で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

「点検の方法がわからない」は令和3年度では、平成30年度と比べると4ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	点検するまでもなく危険である	点検の方法がわからない	点検しなくても安全と思う	費用がかかる	借家である	手間がかかる	対策しても被害は防げないと思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震被害に関心がない	その他	無回答	合計
R3	62 9.6	220 34.0	120 18.5	80 12.4	45 7.0	20 3.1	31 4.8	4 0.6	4 0.6	48 7.4	13 2.0	647 100.0
H30※1	98 12.9	228 30.0	158 20.8	89 11.7	40 5.3	23 3.0	38 5.0	8 1.1	1 0.1	67 8.8	10 1.3	760 100.0
H27※1	88 10.0	313 35.5	133 15.1	85 9.6	68 7.7	40 4.5	50 5.7	14 1.6	8 0.9	69 7.8	14 1.6	882 100.0
H25※1	132 15.3	245 28.4	138 16.0	79 9.1	61 7.1	32 3.7	73 8.4	23 2.7	4 0.5	60 6.9	17 2.0	864 100.0
H22※2	90 12.8	222 31.5	122 17.3	82 11.6	45 6.3	13 1.8	65 9.2	12 1.7	4 0.6	37 5.2	14 2.0	706 100.0
H19※2	67 11.3	94 15.8	112 18.8	58 9.7	56 9.4	13 2.2	56 9.4	11 1.8	4 0.7	105 17.6	19 3.2	595 100.0
H16※2	54 9.2	107 18.2	83 14.1	65 11.0	59 10.0	48 8.1	101 17.1	24 4.1	0 0.0	36 6.1	12 2.0	589 100.0

※1 「ブロック塀や石塀・門柱などの安全性の点検をしていない」と答えた人数

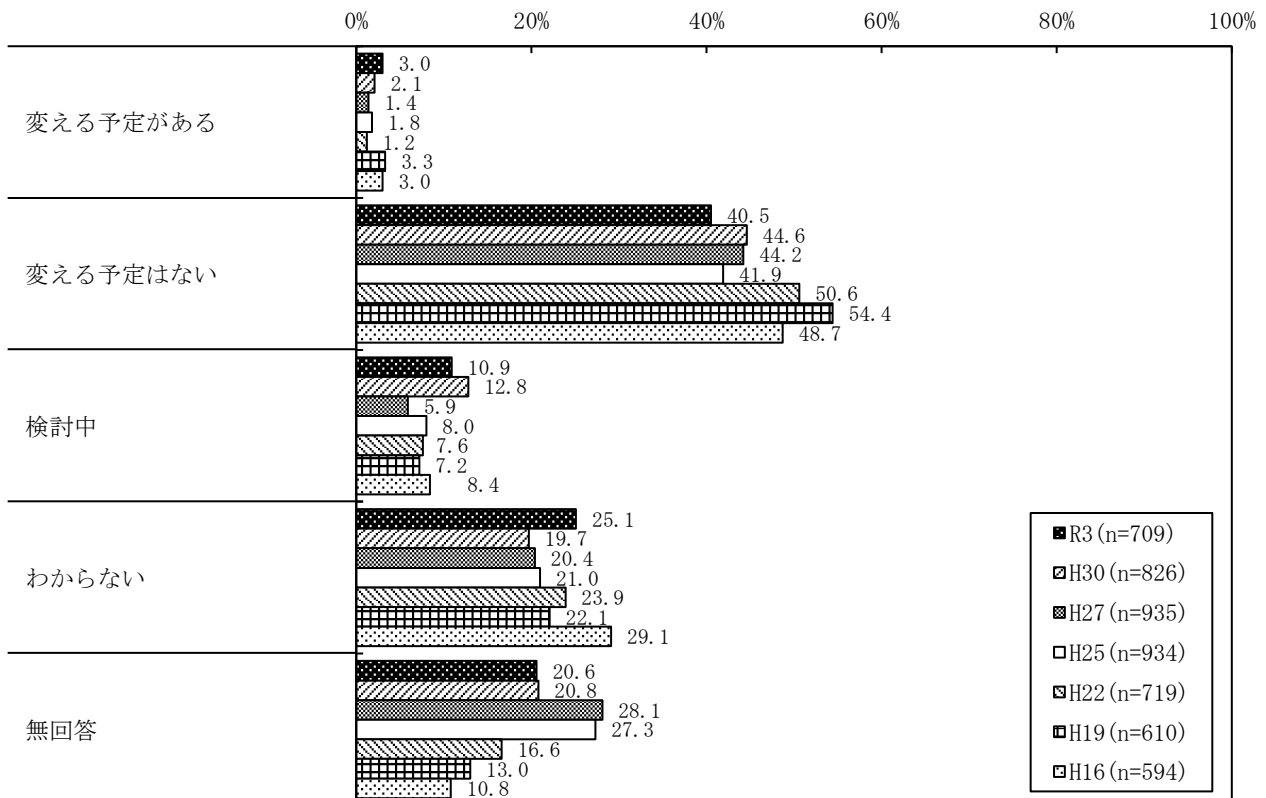


問40 問38で「2. 点検した結果、危険である」、「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。今後、危険性の高いブロック塀や石塀、門柱などを安全なフェンスや生け垣などに変える予定はありますか。(ひとつだけ○)

「変える予定はない」は平成16年度以降で最も少なくなっている。
また、「わからない」は25.1%と平成19年度以降で最も高くなっている。

	上段：人数		下段：%			
	定 が あ る 予	変 え る 予	定 は な い 予	検 討 中	い わ か ら な	無 回 答
R3	21	287	77	178	146	709
	3.0	40.5	10.9	25.1	20.6	100.0
H30※1	17	368	106	163	172	826
	2.1	44.6	12.8	19.7	20.8	100.0
H27※1	13	413	55	191	263	935
	1.4	44.2	5.9	20.4	28.1	100.0
H25※1	17	391	75	196	255	934
	1.8	41.9	8.0	21.0	27.3	100.0
H22	9	364	55	172	120	719
	1.2	50.6	7.6	23.9	16.6	100.0
H19	20	332	44	135	79	610
	3.3	54.4	7.2	22.1	13.0	100.0
H16	18	289	50	173	64	594
	3.0	48.7	8.4	29.1	10.8	100.0

※1 ブロック塀や石塀・門柱などの安全性の「点検をした結果、危険である」・「点検をしていない」と答えた人数

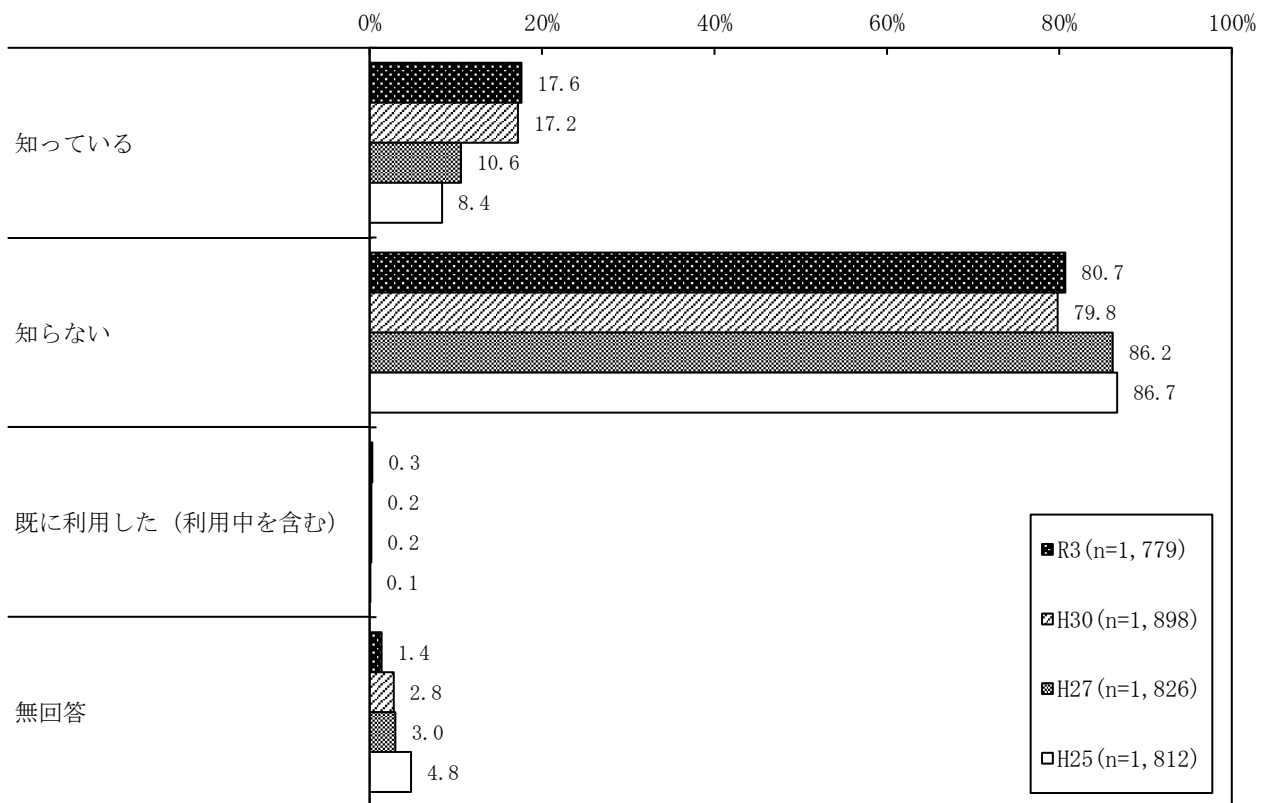


問42 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助（上限20.5万円）をしていますがご存知ですか。（ひとつだけ○）

平成30年度と大きく変わっていない。

	知っている	知らない	既に利用した（利用中を含む）	無回答	合計
R3	313 17.6	1,435 80.7	6 0.3	25 1.4	1,779 100.0
H30	326 17.2	1,515 79.8	3 0.2	54 2.8	1,898 100.0
H27	193 10.6	1,574 86.2	4 0.2	55 3.0	1,826 100.0
H25	152 8.4	1,571 86.7	2 0.1	87 4.8	1,812 100.0

上段：人数
下段：%



問43 問42で「1. 知っている」、「3. 既に利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。

どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

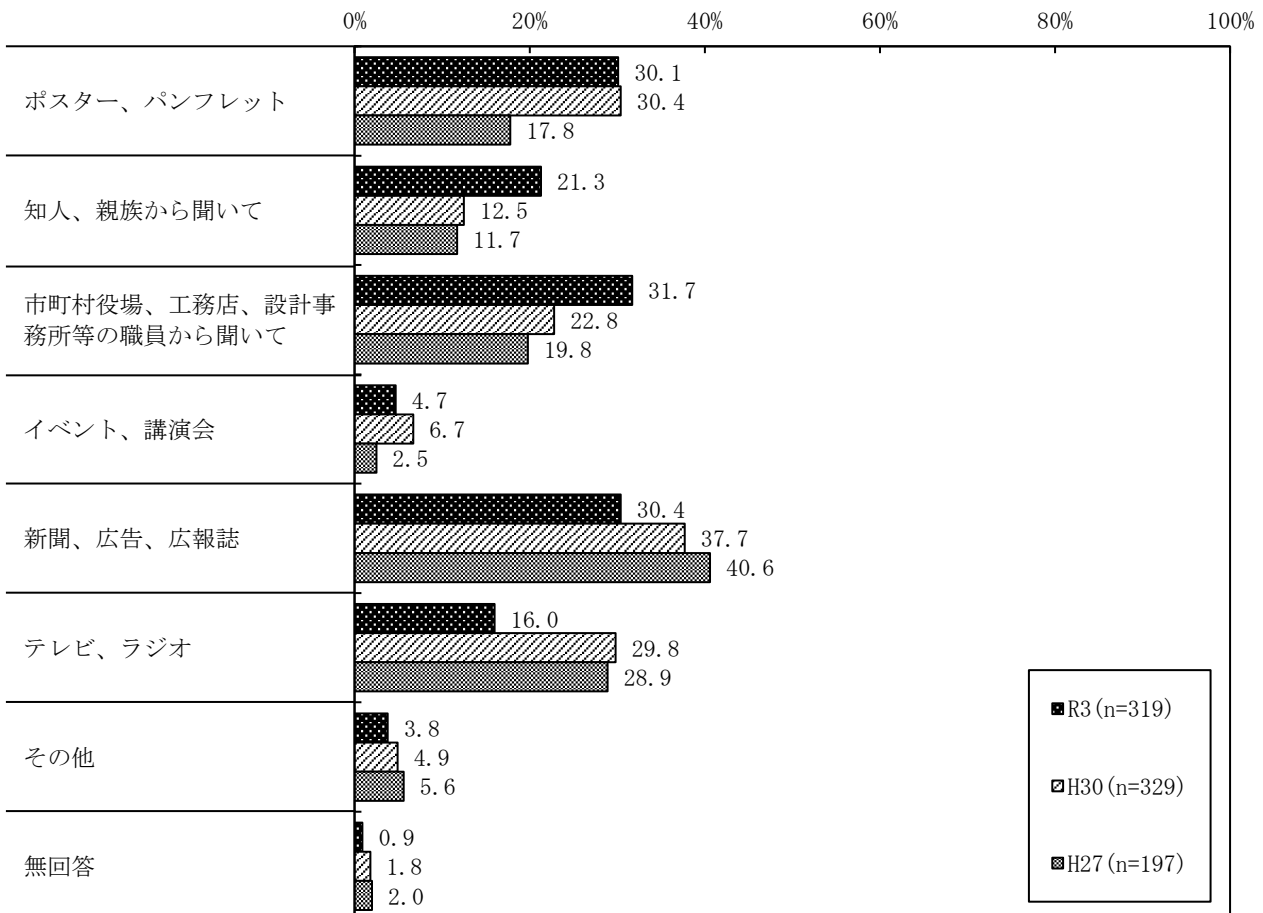
平成30年度と比較すると、「新聞、広告、広報誌」が7.3ポイント、「テレビ、ラジオ」が13.8ポイント減少している。

一方、「知人、親族から聞いて」は8.8ポイント、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が8.9ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて※1	イベント、講演会	新聞、広告、広報誌	テレビ、ラジオ	その他	無回答	合計
R3	96 30.1	68 21.3	101 31.7	15 4.7	97 30.4	51 16.0	12 3.8	3 0.9	319
H30	100 30.4	41 12.5	75 22.8	22 6.7	124 37.7	98 29.8	16 4.9	6 1.8	329
H27	35 17.8	23 11.7	39 19.8	5 2.5	80 40.6	57 28.9	11 5.6	4 2.0	197

※1 平成27年度は「役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と答えた人数



問44 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

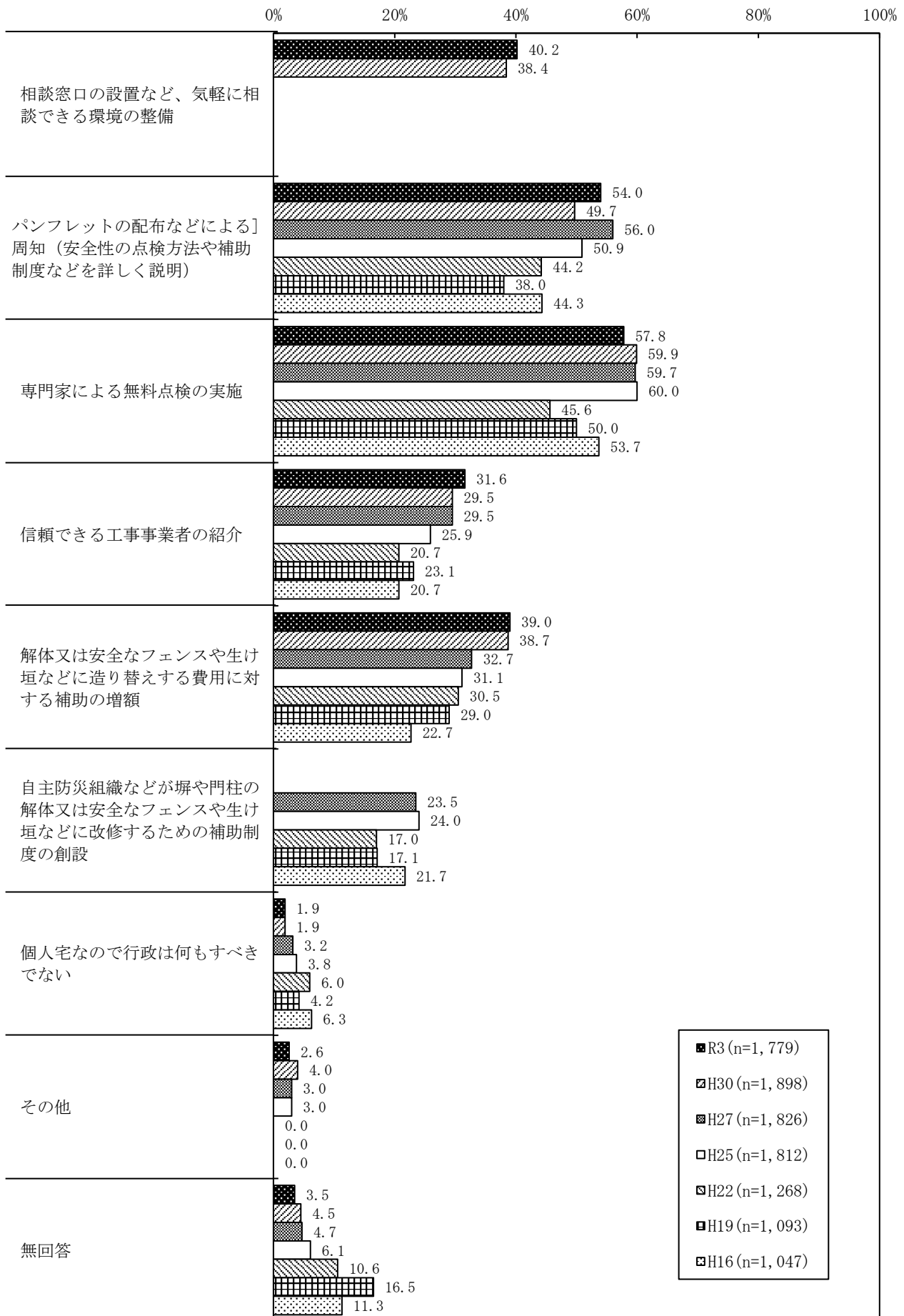
各年代で「専門家による無料点検の実施」が最も高く、次いで「パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明)」が高くなっており、この順番は平成16年度以降変わっていない。

上段：人数
下段：%

	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明) ^{※1}	専門家による無料点検の実施	信頼できる工事事業者の紹介	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替える費用に対する補助の増額 ^{※2}	自主防災組織などが塀や門柱の解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修するための補助制度の創設	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R3	715 40.2	961 54.0	1,028 57.8	562 31.6	693 39.0	- -	33 1.9	46 2.6	62 3.5	1,779
H30	728 38.4	944 49.7	1,137 59.9	560 29.5	734 38.7	- -	36 1.9	76 4.0	85 4.5	1,898
H27	- -	1,022 56.0	1,090 59.7	538 29.5	598 32.7	429 23.5	59 3.2	54 3.0	86 4.7	1,826
H25	- -	923 50.9	1,088 60.0	469 25.9	563 31.1	434 24.0	69 3.8	55 3.0	110 6.1	1,812
H22	- -	561 44.2	578 45.6	263 20.7	387 30.5	216 17.0	76 6.0	0 0.0	134 10.6	1,268
H19	- -	415 38.0	547 50.0	253 23.1	317 29.0	187 17.1	46 4.2	0 0.0	180 16.5	1,093
H16	- -	133 44.3	161 53.7	62 20.7	68 22.7	65 21.7	19 6.3	0 0.0	34 11.3	300

※1 平成27年度以前は「安全性の点検方法や解体、改修方法などを詳しく説明したパンフレットの配布」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対する補助の増額」と答えた人数



問50 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

「知っている」は令和3年度は55.3%と、平成30年度の60.5%より5.2ポイント減少しているが、依然として50%以上となっている。

「すでに利用した（利用中を含む）」は平成25年度以降増加している。

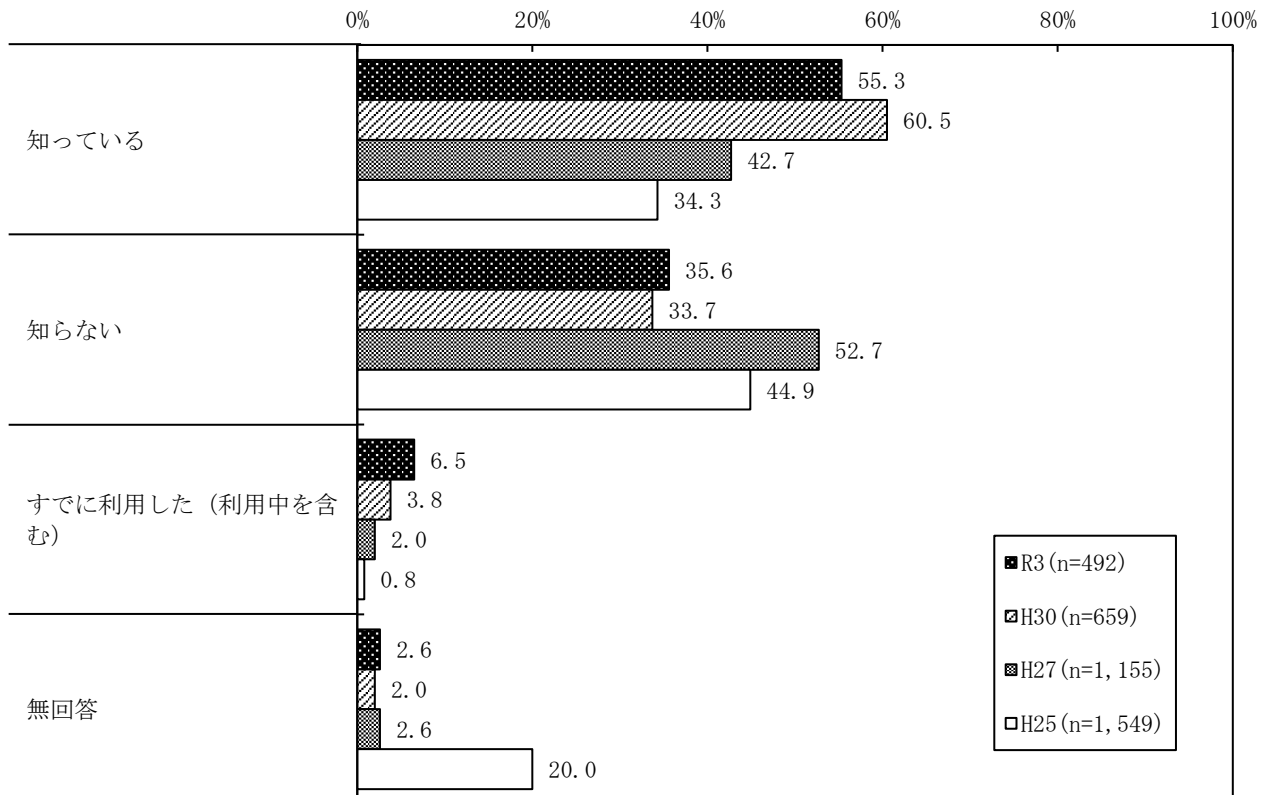
	知っている	知らない	すでに利用した (利用中を含む)	無回答	合計
R3	272 55.3	175 35.6	32 6.5	13 2.6	492 100.0
H30※1	399 60.5	222 33.7	25 3.8	13 2.0	659 100.0
H27※2	493 42.7	609 52.7	23 2.0	30 2.6	1,155 100.0
H25※3	531 34.3	695 44.9	13 0.8	310 20.0	1,549 100.0

上段：人数
下段：%

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問51 問50で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。どのようにしてこの補助制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

「新聞、広告、広報誌」が7.3ポイント、「テレビ、ラジオ」は平成27年度以降減少している。
一方、「知人、親族から聞いて」、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」は平成27年度以降増加している。

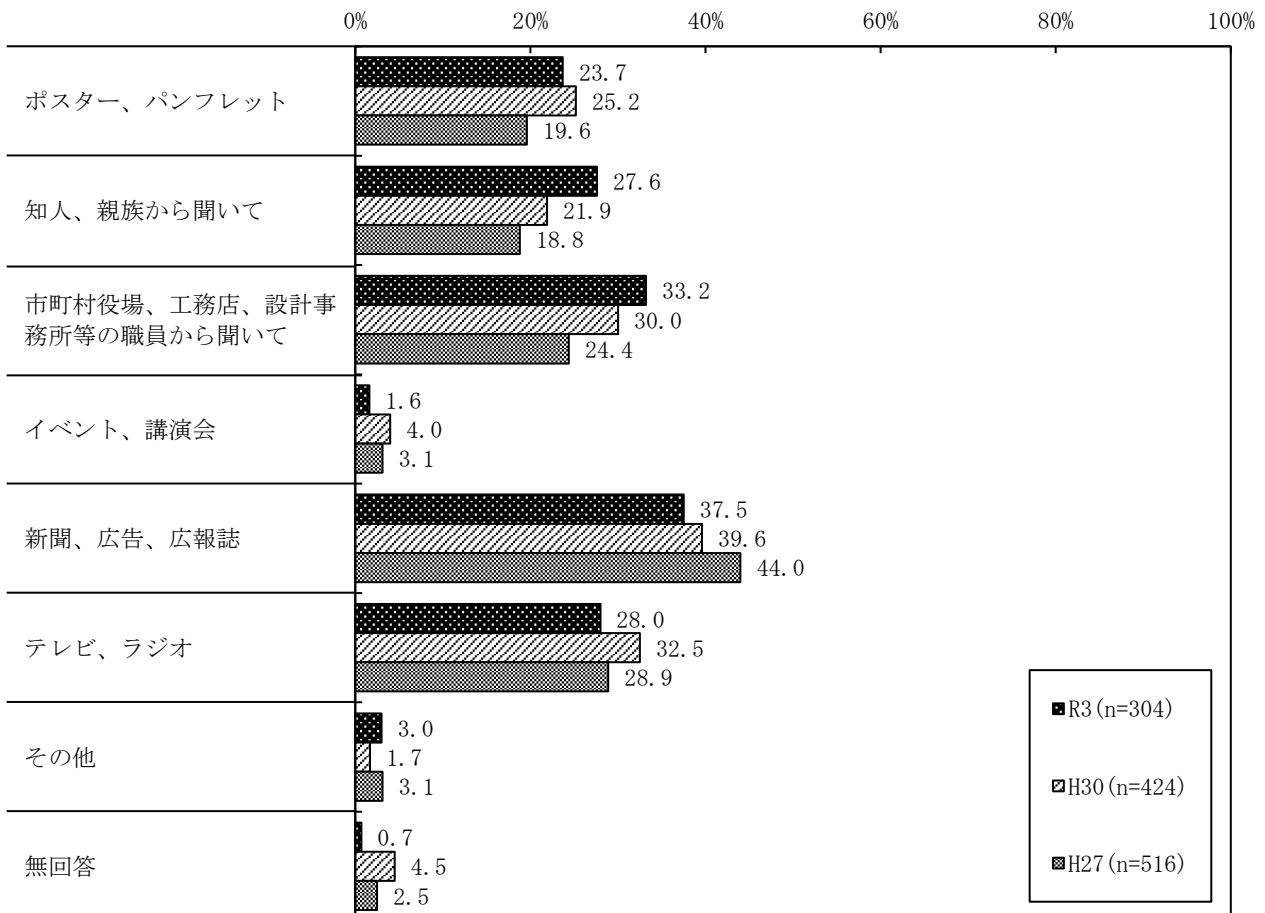
上段：人数
下段：%

	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて ^{※1}	イベント、講演会	新聞、広告、広報誌	テレビ、ラジオ	その他	無回答	合計
R3	72 23.7	84 27.6	101 33.2	5 1.6	114 37.5	85 28.0	9 3.0	2 0.7	304
H30 ^{※2}	107 25.2	93 21.9	127 30.0	17 4.0	168 39.6	138 32.5	7 1.7	19 4.5	424
H27 ^{※3}	101 19.6	97 18.8	126 24.4	16 3.1	227 44.0	149 28.9	16 3.1	13 2.5	516

※1 平成27年度は「役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と答えた人数

※2 昭和56年5月以前建築の住宅に居住し、制度を「知っている」・「既に利用した（利用中を含む）」と答えた人数

※3 木造の持ち家に居住し、制度を「知っている」・「既に利用した（利用中を含む）」と答えた人数



問52 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

令和3年度では「0円」、「10万円まで」、「20万円まで」を合計すると57.7%となり、平成25年度以降の「20万円まで」で比較すると年々増加している。

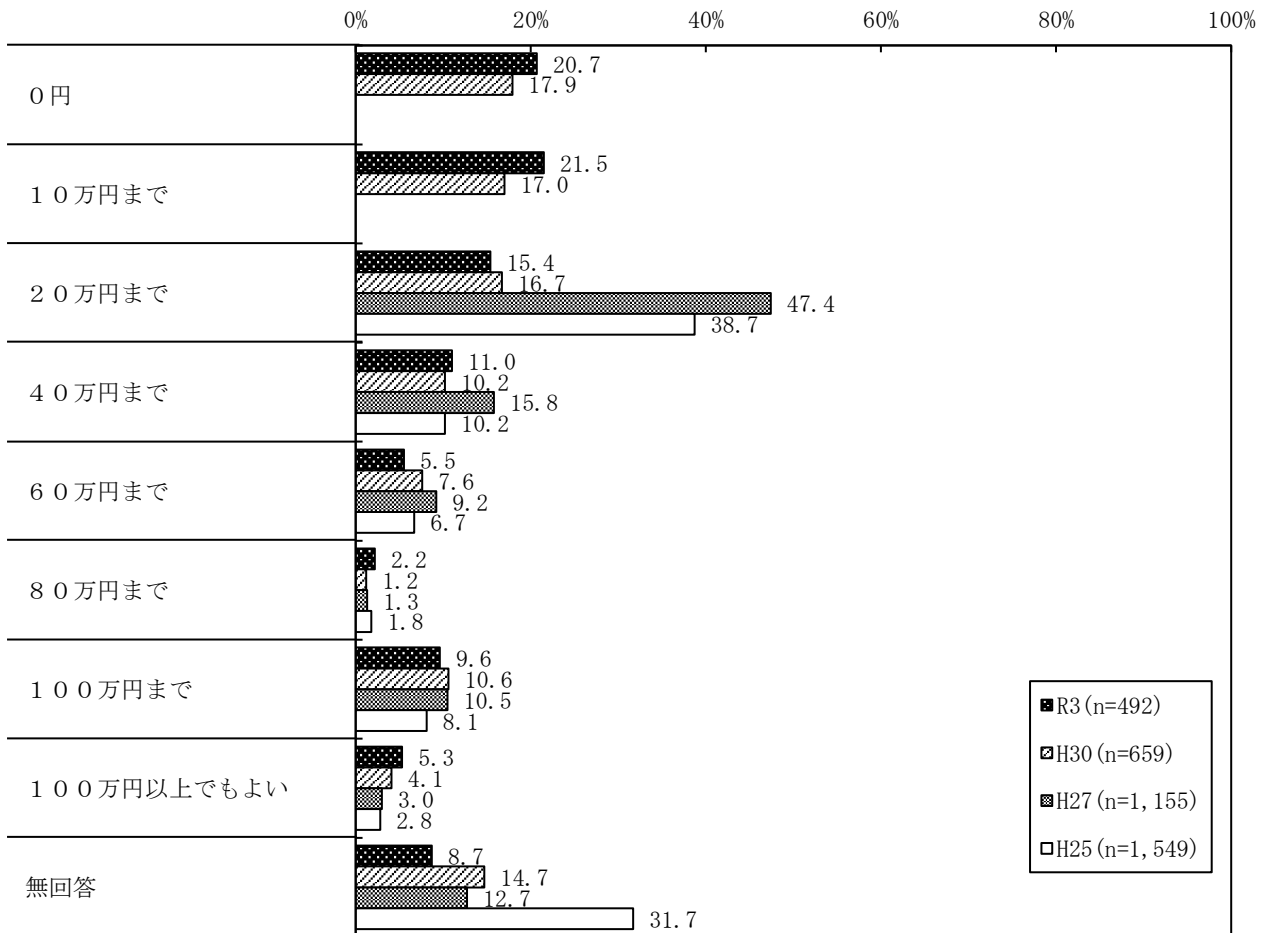
上段：人数
下段：%

	0円	10万円まで	20万円まで	40万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答	合計
R3	102 20.7	106 21.5	76 15.4	54 11.0	27 5.5	11 2.2	47 9.6	26 5.3	43 8.7	492 100.0
H30※1	118 17.9	112 17.0	110 16.7	67 10.2	50 7.6	8 1.2	70 10.6	27 4.1	97 14.7	659 100.0
H27※2	- -	- -	548 47.4	183 15.8	106 9.2	15 1.3	121 10.5	35 3.0	147 12.7	1,155 100.0
H25※3	- -	- -	599 38.7	158 10.2	104 6.7	28 1.8	125 8.1	44 2.8	491 31.7	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問53 住宅全体ではなく寝室や居間などの特定の居室だけは安全性を確保するよう、耐震シェルターや耐震ベッドの設置、または部分的な耐震対策を行う場合、自己負担がどのくらいの金額までなら実施をしてもよいと思いますか。(ひとつだけ○)

令和3年度の「0円」、「10万円」の合計は56.7%となっており、平成25年度以降の「10万円まで」と比較すると増加しており、平成30年度の48.2%と比較すると8.5ポイント増加している。

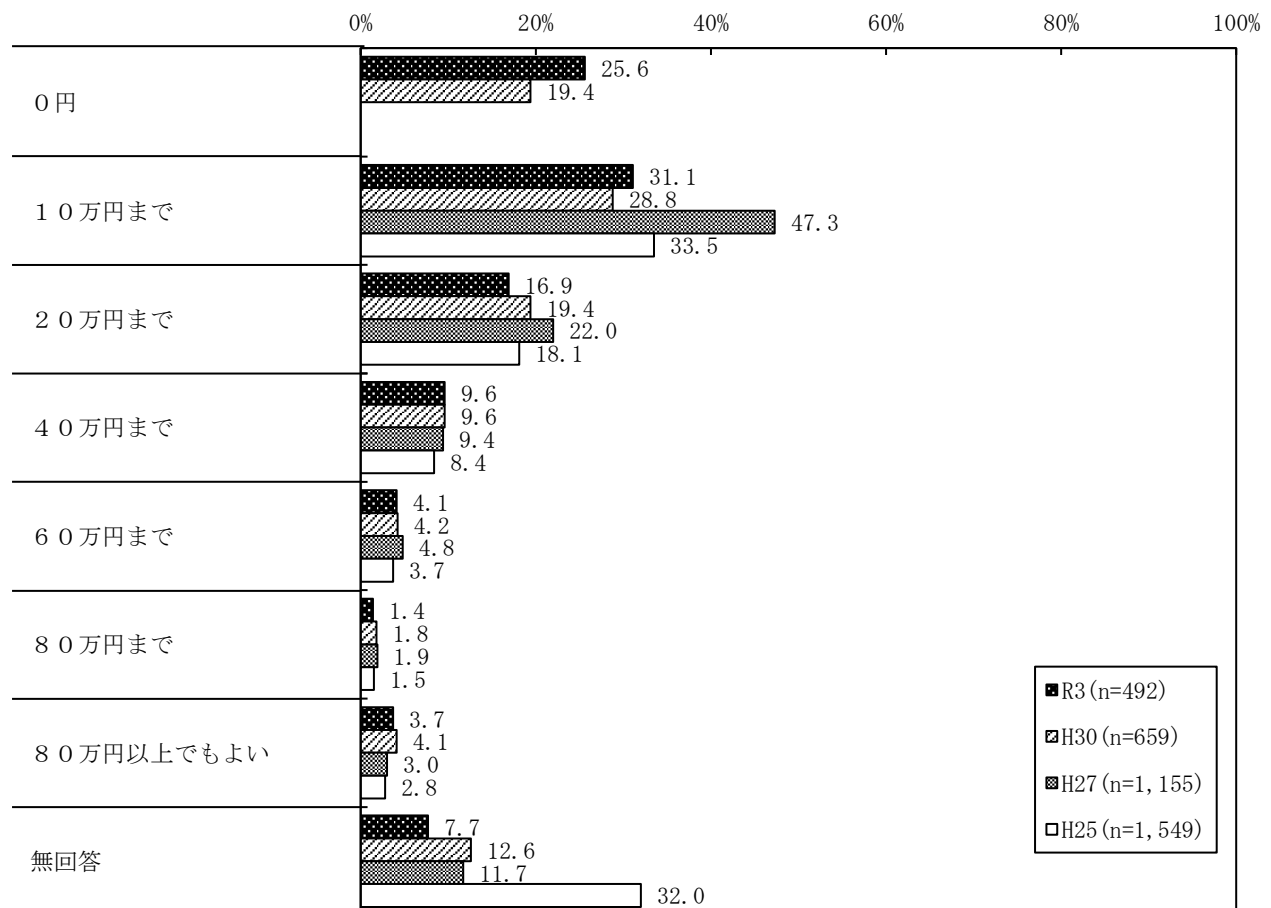
上段：人数
下段：%

	0円	で10万円まで	で20万円まで	で40万円まで	で60万円まで	で80万円まで	80万円以上でもよい	無回答	合計
R3	126 25.6	153 31.1	83 16.9	47 9.6	20 4.1	7 1.4	18 3.7	38 7.7	492 100.0
H30※1	128 19.4	190 28.8	128 19.4	63 9.6	28 4.2	12 1.8	27 4.1	83 12.6	659 100.0
H27※2	-	546 47.3	254 22.0	108 9.4	55 4.8	22 1.9	35 3.0	135 11.7	1,155 100.0
H25※3	-	519 33.5	280 18.1	130 8.4	58 3.7	24 1.5	43 2.8	495 32.0	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

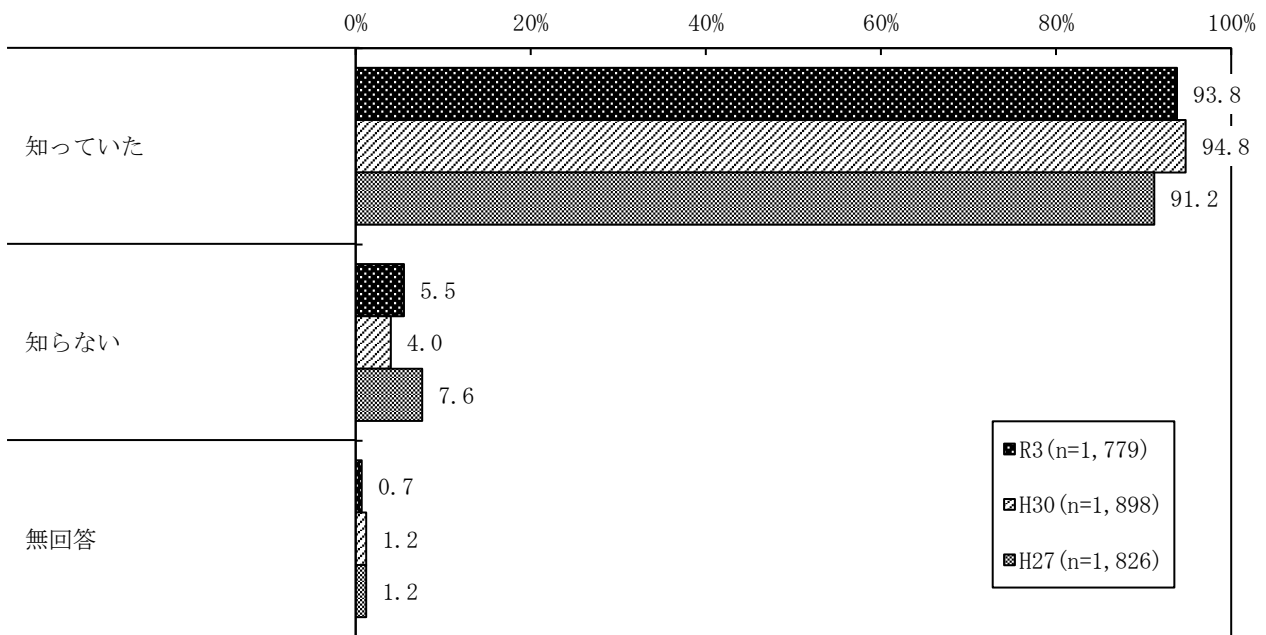
※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問55 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな差はない。

	上段：人数 下段：%			合計
	知っていた	知らない	無回答	
R3	1,669 93.8	97 5.5	13 0.7	1,779 100.0
H30	1,800 94.8	76 4.0	22 1.2	1,898 100.0
H27	1,666 91.2	139 7.6	21 1.2	1,826 100.0



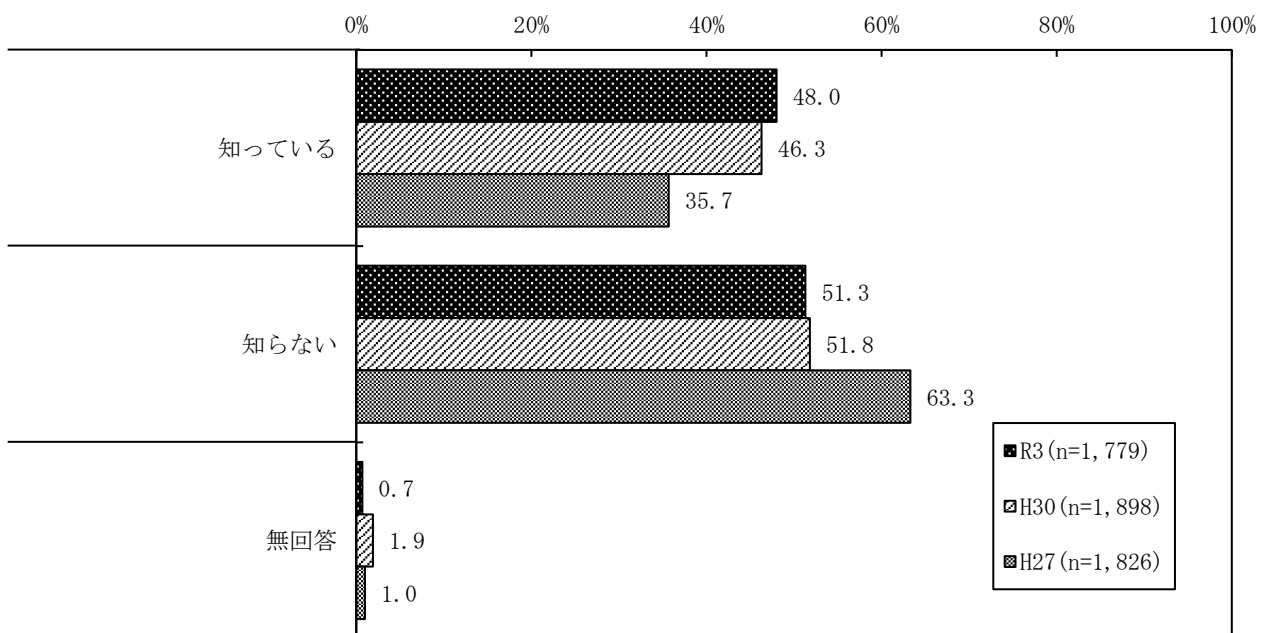
問56 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。

(ひとつだけ○)

「知っている」は平成27年度以降増加している。

上段：人数
下段：%

	知っている	知らない	無回答	合計
R3	854 48.0	913 51.3	12 0.7	1,779 100.0
H30	878 46.3	984 51.8	36 1.9	1,898 100.0
H27	651 35.7	1,156 63.3	19 1.0	1,826 100.0

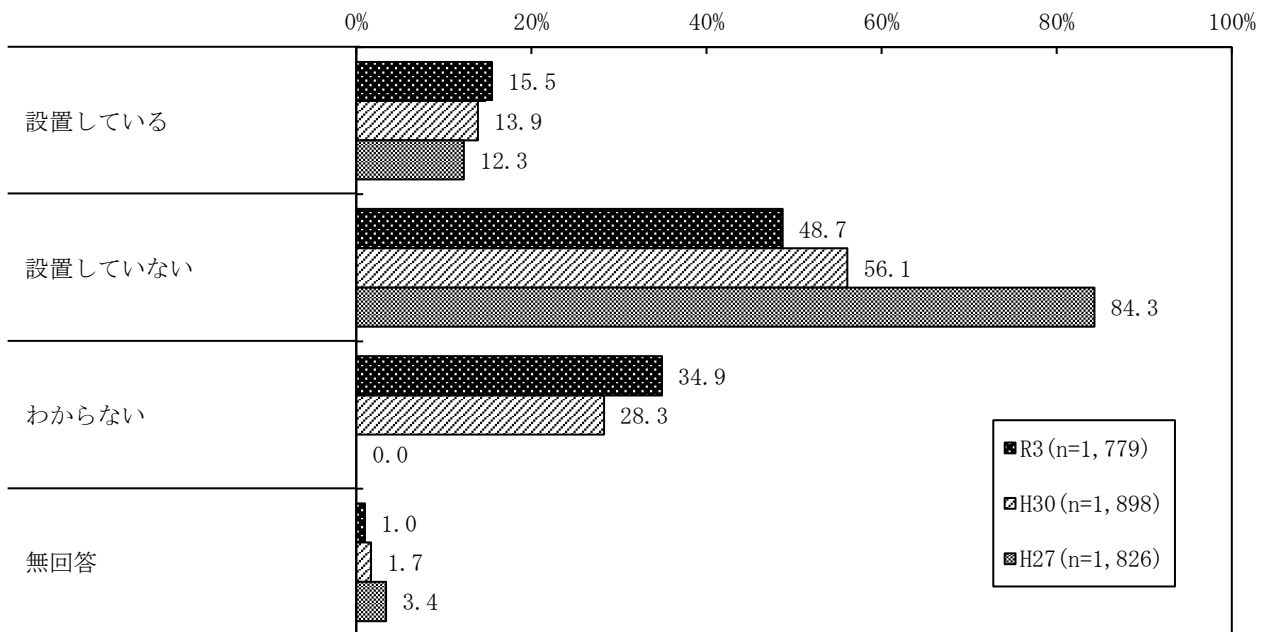


問57 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ○）

「設置していない」の割合は、平成27年度は84.3%だったが、令和3年度では48.7%まで減少している。「わからない」は平成30年度から6.6ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	設置している	設置していない	わからない	無回答	合計
R3	276 15.5	866 48.7	620 34.9	17 1.0	1,779 100.0
H30	264 13.9	1,064 56.1	538 28.3	32 1.7	1,898 100.0
H27	225 12.3	1,539 84.3	- -	62 3.4	1,826 100.0

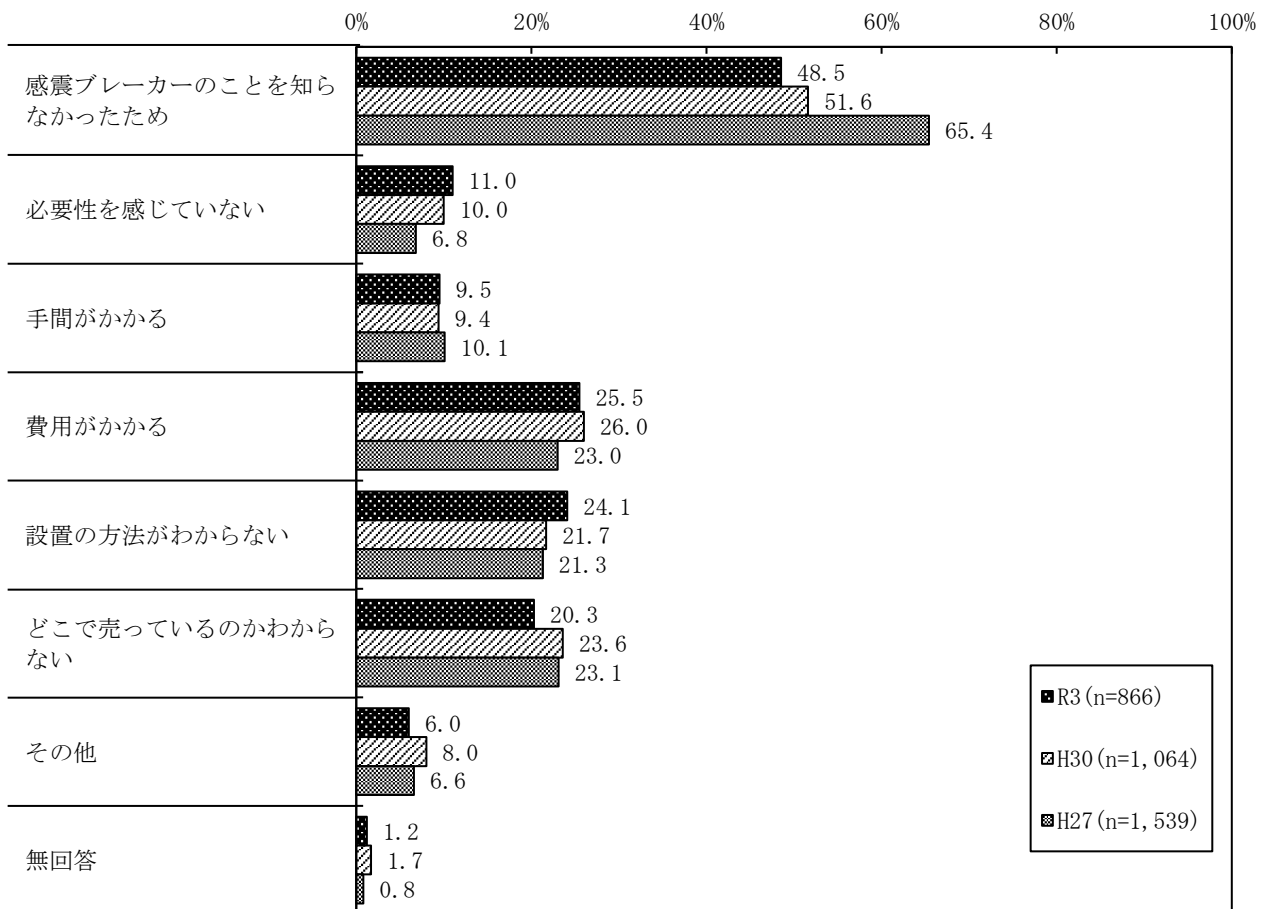


問58 問57で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○)

「感震ブレーカーのことを知らなかったため」は平成27年度から割合が減少しており、平成27年度では65.4%だったが、令和3年度は48.5%と16.9ポイント減少している。

上段：人数
下段：%

	感震ブレーカーのことを知らなかったため	必要性を感じていない	手間がかかる	費用がかかる	設置の方法がわからない	どこで売っているのかわからない	その他	無回答	合計
R3	420 48.5	95 11.0	82 9.5	221 25.5	209 24.1	176 20.3	52 6.0	10 1.2	866
H30	549 51.6	106 10.0	100 9.4	277 26.0	231 21.7	251 23.6	85 8.0	18 1.7	1,064
H27	1,007 65.4	104 6.8	155 10.1	354 23.0	328 21.3	355 23.1	101 6.6	12 0.8	1,539



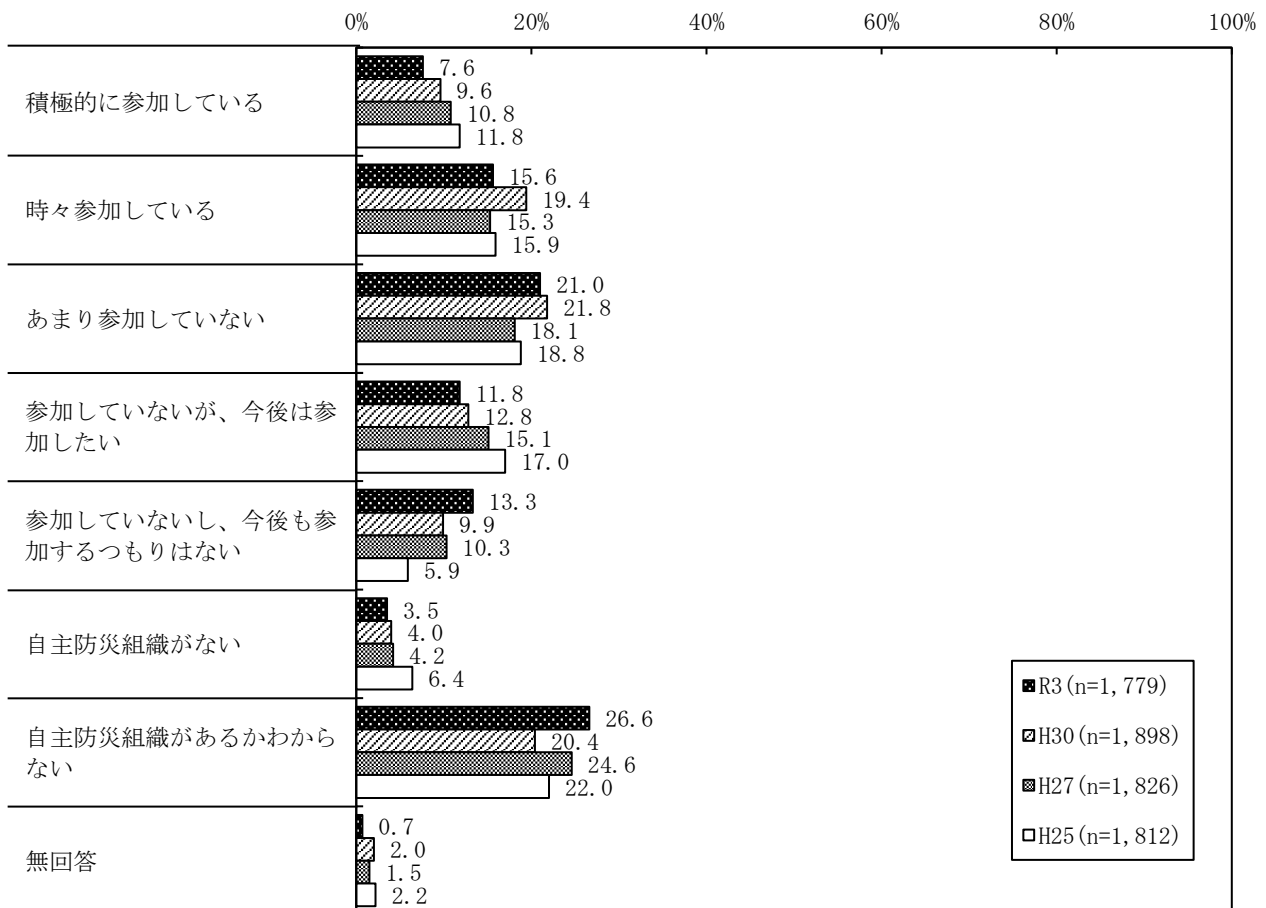
問64 お住まいの地域の自主防災組織の活動（訓練、学習会、避難路の点検など）へ参加していますか。（ひとつだけ○）

「積極的に参加している」は平成25年度以降減少している。

「自主防災組織があるかわからない」は平成25年度以降最も高くなっており、関心が薄いと思われる。

上段：人数
下段：%

	積極的に参加している	時々参加している	あまり参加していない	参加していないが、今後は参加したい	参加していないし、今後も参加するつもりはない	自主防災組織がない	自主防災組織があるかわからない	無回答	合計
R3	136 7.6	277 15.6	373 21.0	210 11.8	236 13.3	62 3.5	473 26.6	12 0.7	1,779 100.0
H30	183 9.6	369 19.4	413 21.8	243 12.8	188 9.9	76 4.0	388 20.4	38 2.0	1,898 100.0
H27	198 10.8	280 15.3	331 18.1	276 15.1	188 10.3	76 4.2	449 24.6	28 1.5	1,826 100.0
H25	213 11.8	289 15.9	341 18.8	308 17.0	107 5.9	116 6.4	398 22.0	40 2.2	1,812 100.0



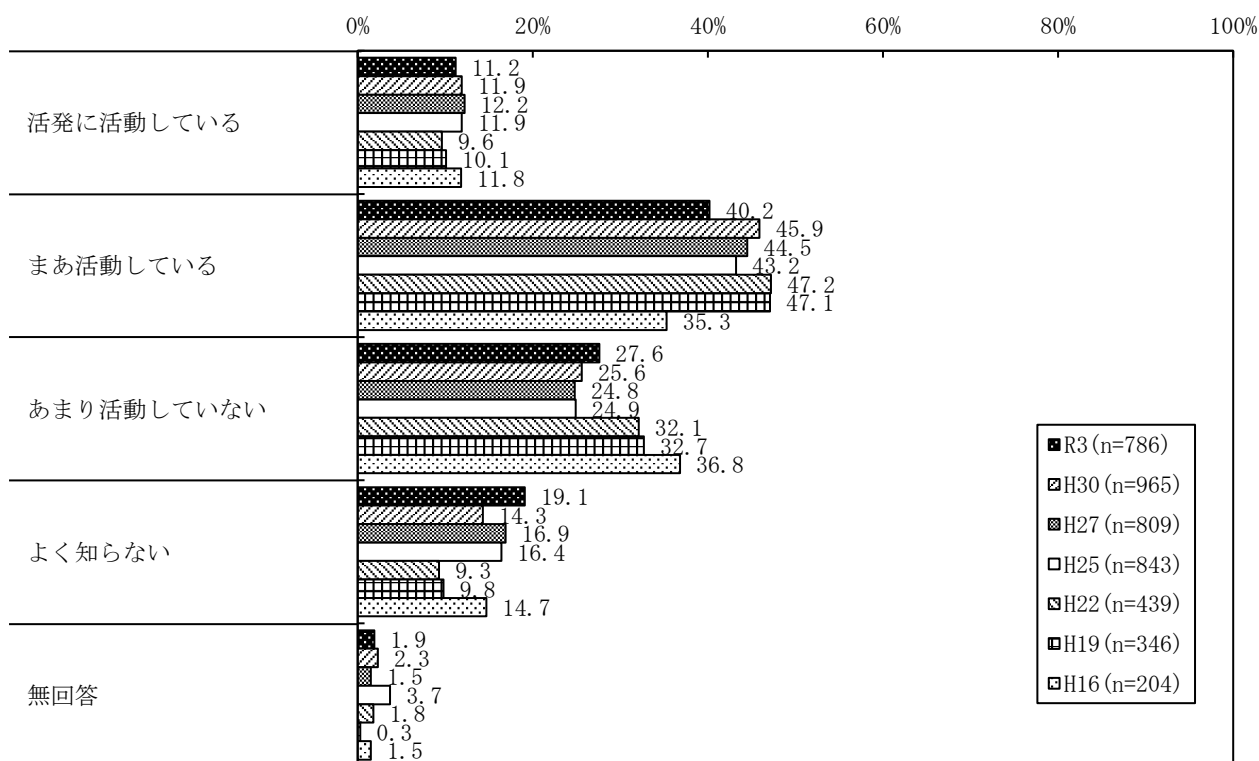
問65 問64で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。

(ひとつだけ○)

「よく知らない」が平成30年度より4.8ポイント増加している。

	上段：人数					合計
	下段：%					
	活発に活動している	まあ活動している	あまり活動していない	よく知らない	無回答	
R3	88 11.2	316 40.2	217 27.6	150 19.1	15 1.9	786 100.0
H30*1	115 11.9	443 45.9	247 25.6	138 14.3	22 2.3	965 100.0
H27*1	99 12.2	360 44.5	201 24.8	137 16.9	12 1.5	809 100.0
H25*1	100 11.9	364 43.2	210 24.9	138 16.4	31 3.7	843 100.0
H22	42 9.6	207 47.2	141 32.1	41 9.3	8 1.8	439 100.0
H19	35 10.1	163 47.1	113 32.7	34 9.8	1 0.3	346 100.0
H16	24 11.8	72 35.3	75 36.8	30 14.7	3 1.5	204 100.0

※1 「お住まいの地域の自主防災組織の活動に参加したことがある」と答えた人数



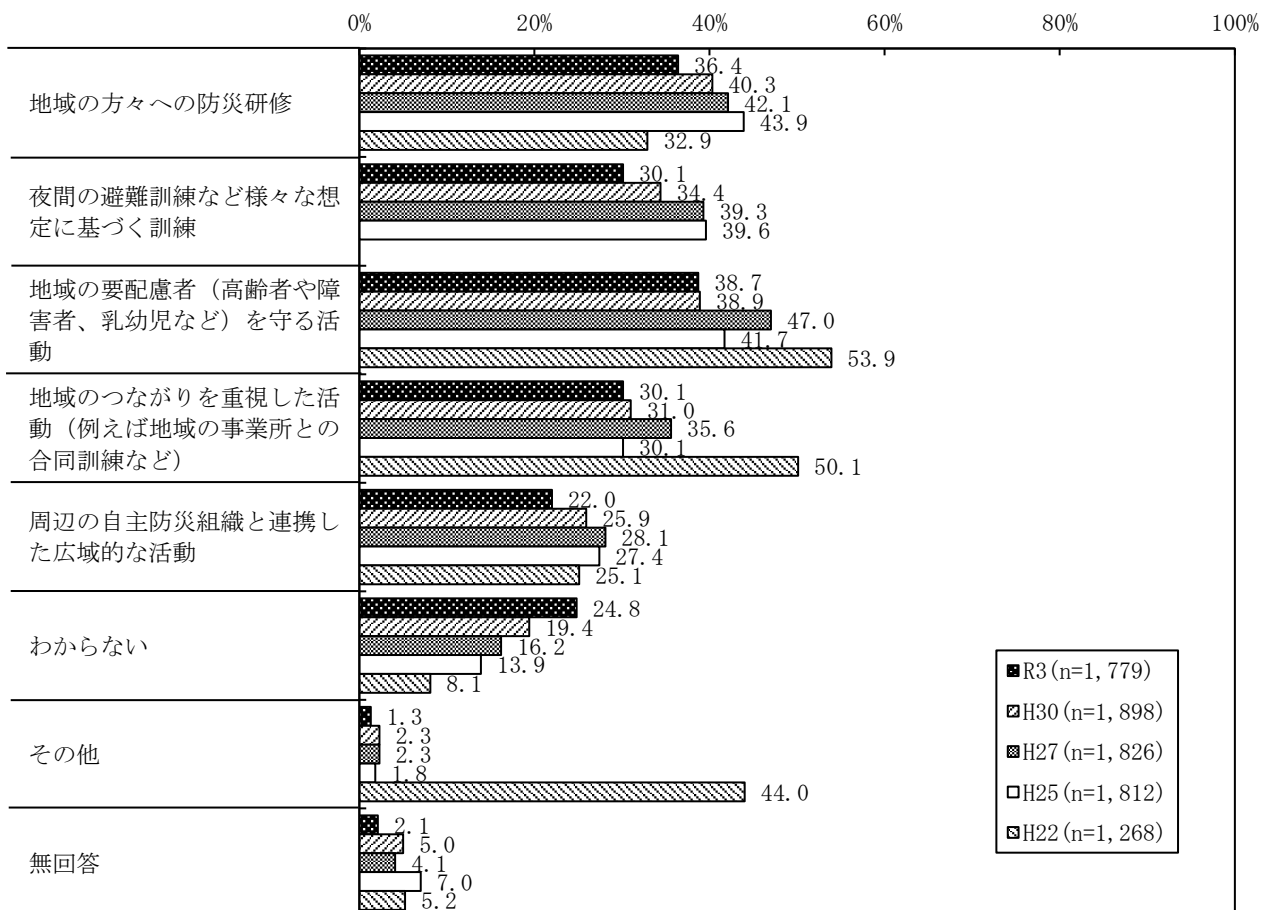
問66 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

それぞれの活動の割合は大きな変化見られないが、「わからない」の割合は、平成22年度の8.1%だったが、令和3年度では24.8%と、16.7ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	地域の方々への防災研修	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	わからない	その他	無回答	合計
R3	648 36.4	535 30.1	689 38.7	535 30.1	391 22.0	442 24.8	24 1.3	38 2.1	1,779
H30	764 40.3	653 34.4	738 38.9	589 31.0	492 25.9	368 19.4	43 2.3	95 5.0	1,898
H27	769 42.1	718 39.3	858 47.0	650 35.6	514 28.1	296 16.2	42 2.3	74 4.1	1,826
H25	795 43.9	717 39.6	755 41.7	545 30.1	497 27.4	252 13.9	33 1.8	126 7.0	1,812
H22	239 32.9	- -	391 53.9	364 50.1	182 25.1	59 8.1	319 44.0	38 5.2	726



問71 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

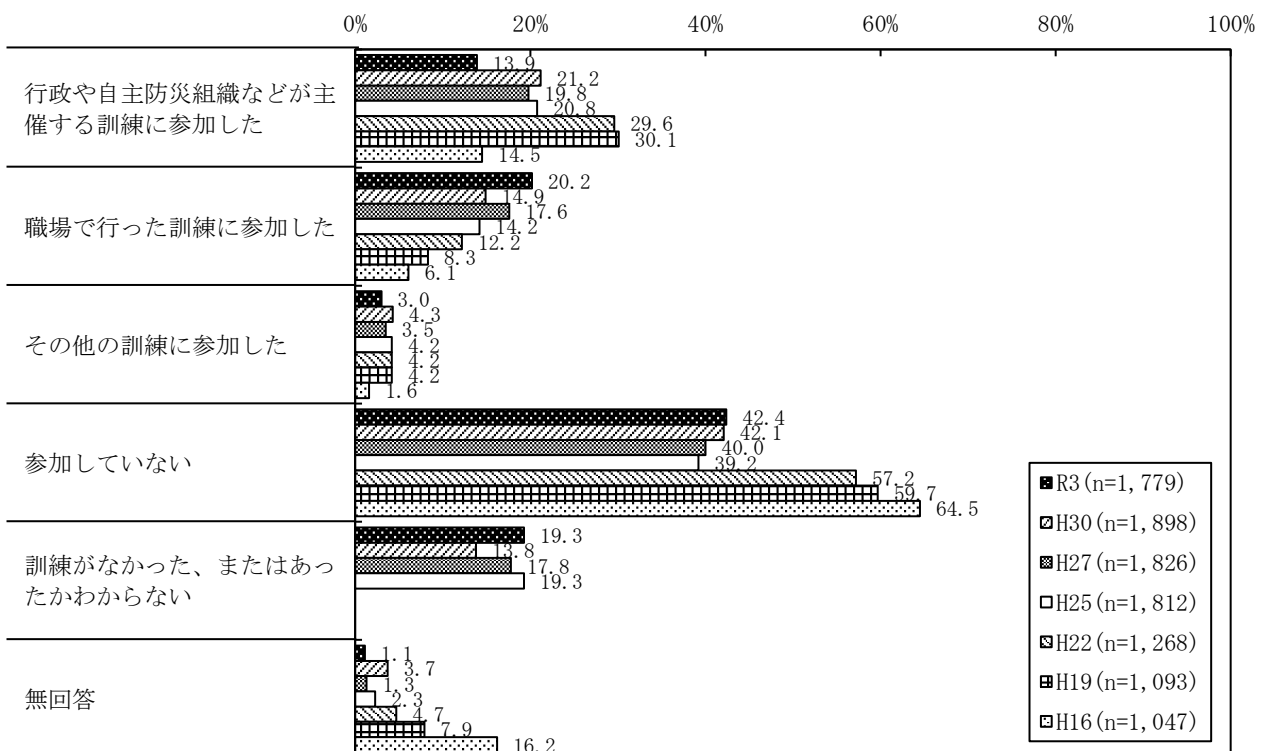
「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は、平成25年後以降は約20%で推移していたが、令和3年度では13.9%と6ポイント近く減少した。

「職場で行った訓練に参加した」は、令和25年以降は約15%程だったが、令和3年度では20.2%と5ポイント程度増加している。

「参加していない」は、各年度で最も高くなっており、防災訓練の参加者を増やす取り組みをさらに力を入れる必要がある。

	上段：人数						下段：%	
	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	職場で行った訓練に参加した	その他の訓練に参加した	参加していない	訓練がなかった、またはあったかわからない	無回答	合計	
R3	248 13.9	359 20.2	54 3.0	754 42.4	344 19.3	20 1.1	1,779 100.0	
H30	403 21.2	283 14.9	81 4.3	799 42.1	262 13.8	70 3.7	1,898 100.0	
H27	362 19.8	321 17.6	64 3.5	731 40.0	325 17.8	23 1.3	1,826 100.0	
H25	376 20.8	258 14.2	77 4.2	710 39.2	350 19.3	41 2.3	1,812 100.0	
H22 ^{*1}	349 29.6	137 12.2	40 4.2	686 57.2	- -	56 4.7	1,268	
H19 ^{*1}	310 30.1	76 8.3	22 4.2	609 59.7	- -	76 7.9	1,093	
H16 ^{*1}	147 14.5	60 6.1	19 1.6	664 64.5	- -	157 16.2	1,047	

※1 平成16年度～平成22年度は複数回答

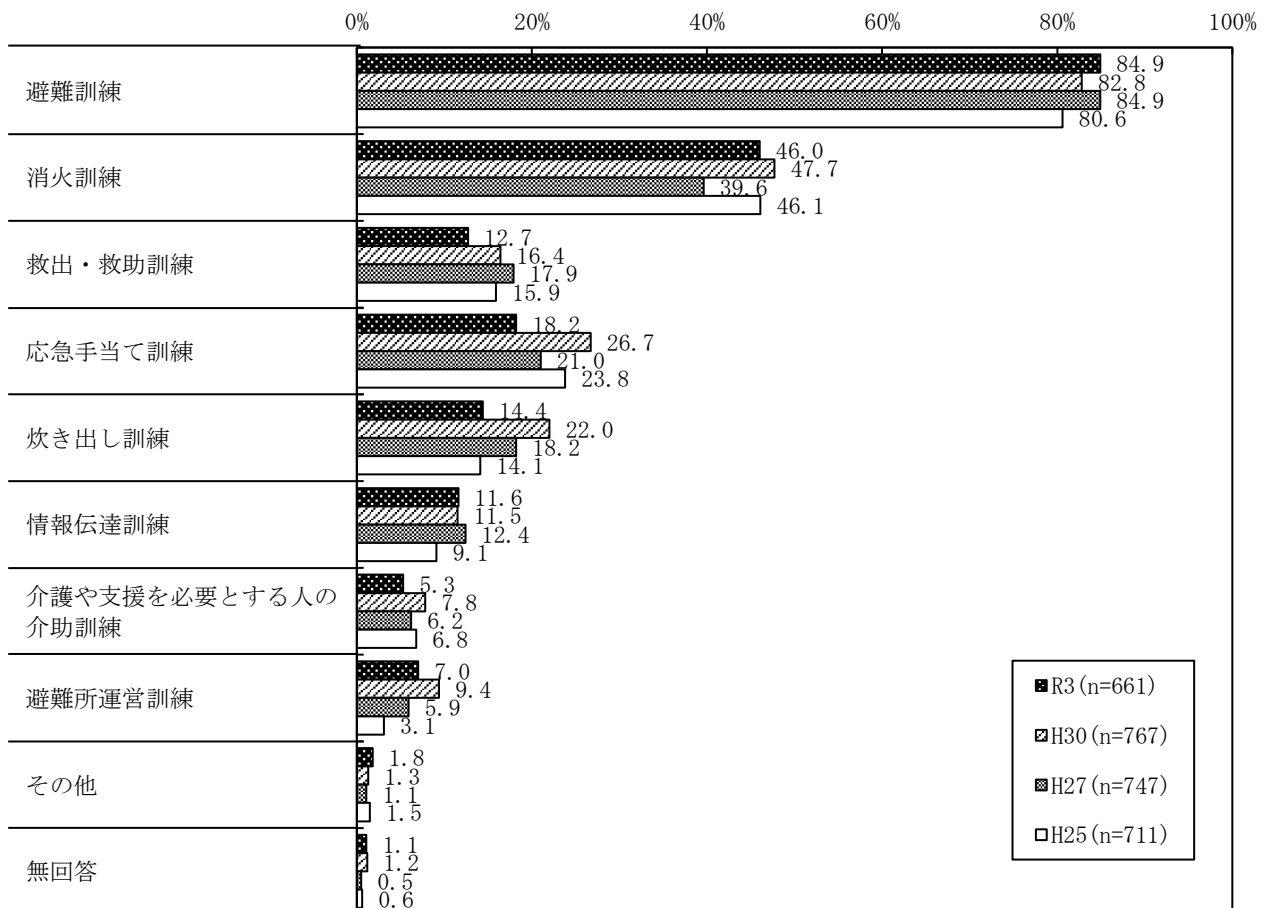


問72 問71で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

平成30年度と比べ、令和3年度では、「応急手当て訓練」が8.5ポイント、「炊き出し訓練」では7.6ポイント減少している。

	避難訓練	消火訓練	救出・救助訓練	応急手当て訓練	炊き出し訓練	情報伝達訓練	介護や支援を必要とする人の介助訓練	避難所運営訓練	その他	無回答	合計
R3	561 84.9	304 46.0	84 12.7	120 18.2	95 14.4	77 11.6	35 5.3	46 7.0	12 1.8	7 1.1	661
H30	635 82.8	366 47.7	126 16.4	205 26.7	169 22.0	88 11.5	60 7.8	72 9.4	10 1.3	9 1.2	767
H27	634 84.9	296 39.6	134 17.9	157 21.0	136 18.2	93 12.4	46 6.2	44 5.9	8 1.1	4 0.5	747
H25	573 80.6	328 46.1	113 15.9	169 23.8	100 14.1	65 9.1	48 6.8	22 3.1	11 1.5	4 0.6	711

上段：人数
下段：%



問73 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

(2つまで〇)

「参加賞（非常食）などを出す」の割合が、平成25年度以降増加傾向にある。

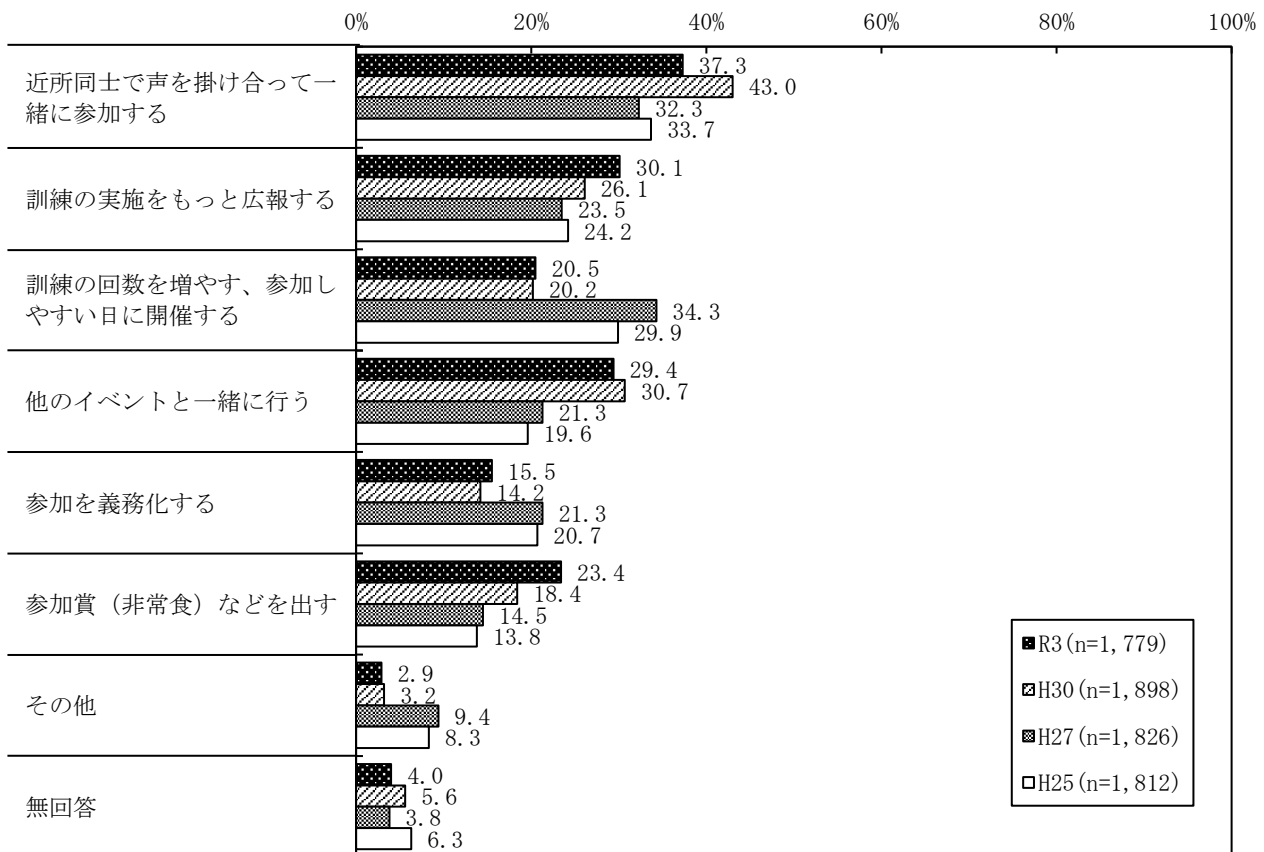
「訓練の実施をもっと広報する」が平成27年度では23.5%だったが、令和3年度では30.1%となっており、広報や周知徹底が不足が考えられ、更なる取り組みが求められる。

	上段：人数 下段：%								
	近所同士で声を掛け合っ て一緒に参加する	訓練の実施をもっと 広報する※ ¹	訓練の回数を増やす、 参加しやすい日に開催する	他のイベントと一緒に 行う	参加を義務化する	参加賞（非常食）など を出す※ ²	その他	無回答	合計
R3	664 37.3	535 30.1	365 20.5	523 29.4	275 15.5	417 23.4	51 2.9	72 4.0	1,779
H30	817 43.0	496 26.1	383 20.2	583 30.7	270 14.2	349 18.4	61 3.2	106 5.6	1,898
H27※ ³	236 32.3	172 23.5	251 34.3	156 21.3	156 21.3	106 14.5	69 9.4	28 3.8	731
H25※ ³	239 33.7	172 24.2	212 29.9	139 19.6	147 20.7	98 13.8	59 8.3	45 6.3	710

※1 平成27年度以前は「パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「非常食などを出す」と答えた人数

※3 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に「参加していない」と答えた人数



問74 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

「地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり」が平成25年以降減少している。

「地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化」や「小中学校の防災教育の充実」は平成30年度より増加している。

上段：人数
下段：%

	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化※ ₁	地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実※ ₂	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	小中学校の防災教育の充実	消防団の強化	近隣の事業所などとの連携促進※ ₃	地域ごとの備蓄の推進※ ₄	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	その他	無回答	合計
R3	833 46.8	501 28.2	433 24.3	310 17.4	322 18.1	632 35.5	- -	283 15.9	648 36.4	356 20.0	655 36.8	39 2.2	67 3.8	1,779
H30	785 41.4	548 28.9	461 24.3	434 22.9	350 18.4	623 32.8	- -	306 16.1	683 36.0	371 19.5	783 41.3	45 2.4	119 6.3	1,898
H27	913 50.0	813 44.5	729 39.9	566 31.0	444 24.3	622 34.1	352 19.3	469 25.7	909 49.8	417 22.8	- -	57 3.1	101 5.5	1,826
H25	794 43.8	735 40.6	620 34.2	695 38.4	397 21.9	509 28.1	308 17.0	488 26.9	675 37.3	- -	- -	53 2.9	134 7.4	1,812
H22	710 56.4	519 41.5	443 35.1	291 23.2	380 29.6	405 32.3	304 24.4	431 33.9	- -	- -	- -	25 1.7	139 10.9	1,268
H19	612 55.6	448 41.1	360 33.1	262 23.7	338 30.8	349 31.5	273 25.2	371 33.7	- -	- -	- -	21 1.9	109 10.0	1,093
H16	156 52.3	111 36.7	90 30.0	75 25.0	108 36.0	75 25.3	84 28.3	102 34.3	- -	- -	- -	6 1.7	33 11.3	300

※1 平成27年度以前は「自主防災組織の育成や強化」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「自主防災組織の防災資機材の整備や充実」と答えた人数

※3 平成27年度以前は「消防団や近隣の事業所などとの連携促進」と答えた人数

※4 平成27年度以前は「地域ごとの備蓄」と答えた人数

